

# AMED データブック

第2期 2020年度～2024年度



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

---

# はじめに

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED: Japan Agency for Medical Research and Development)は、2020年度(令和2年度)から2024年度(令和6年度)の5年間を第2期中長期計画期間として、政府が定めた第2期の「健康・医療戦略」に基づき、モダリティ等を軸にした6つの統合プロジェクト\*に沿って研究開発を推進し、疾患に関連した研究開発は統合プロジェクトを横断する形で取り組んでまいりました。この「AMEDデータブック第2期」は、第2期の活動実績をデータで示したものです。本データブックが、AMEDによる医療分野の研究開発の推進に関する状況をご理解いただく一助となれば幸いです。

2025年12月

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

\*政府が定めた第2期の「健康・医療戦略」では、統合プロジェクトとして、医薬品、医療機器・ヘルスケア、再生・細胞医療・遺伝子治療、ゲノム・データ基盤、疾患基礎研究、シーズ開発・研究基盤の6つが定められている。

# 目次

## データブック 第2期の集計について 第1期と第2期 概況

I

II

### 1 AMED研究開発推進の状況

1.1 第2期全体の課題数と研究開発費	1
1.2 課題あたりの研究開発費分布 課題数と研究開発費	2
1.3 統合プロジェクト別 課題数と研究開発費 1) 第2期	3
統合プロジェクト別 課題数と研究開発費 2) 推移	4
1.4 研究機関分類別 課題数と研究開発費 1) 第2期	5
研究機関分類別 課題数と研究開発費 2) 推移	6
1.5 対象疾患別 1) 課題数 推移	7
対象疾患別 2) 研究開発費 推移	8
1.6 研究の性格別 課題数と研究開発費 1) 第2期	9
研究の性格別 課題数と研究開発費 2) 推移	10
1.7 疾患領域別 課題数と研究開発費	11
1.8 開発目的別 課題数と研究開発費	12

### 2 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究開発課題の状況

2.1 開発フェーズ別 課題数と研究開発費 1) 第2期	13
開発フェーズ別 課題数と研究開発費 2) 推移	14
2.2 承認上の分類別 課題数と研究開発費 1) 第2期	15
承認上の分類別 課題数と研究開発費 2) 推移	16

### 3 基金事業の状況

3.1 基金事業全体の課題数と研究開発費	17
3.2 研究機関分類別 課題数と研究開発費	18
3.3 研究の性格別 課題数と研究開発費	19
3.4 疾患領域別 課題数と研究開発費	20
3.5 開発目的別 課題数と研究開発費	21
3.6 開発フェーズ別 課題数と研究開発費	22
3.7 承認上の分類別 課題数と研究開発費	23

# 目次

<b>4 COVID-19関連予算による研究開発の状況</b>	
4.1 COVID-19関連予算による研究開発全体の課題数と研究開発費	24
4.2 研究機関分類別 課題数と研究開発費	25
4.3 研究の性格別 課題数と研究開発費	26
4.4 開発目的別 課題数と研究開発費	27
4.5 開発フェーズ別 課題数と研究開発費	28
4.6 承認上の分類別 課題数と研究開発費	29
<b>5 AMED公募採択と新規課題研究代表者の状況</b>	
5.1 公募に対する応募・採択件数と採択率	30
5.2 新規課題研究代表者 性別人数と平均年齢	31
5.3 新規課題研究代表者 年齢階級別人数 1) 全体	32
新規課題研究代表者 年齢階級別人数 2) 男性	33
新規課題研究代表者 年齢階級別人数 3) 女性	34
<b>6 補足</b>	
6.1 研究機関の分類	35
6.2 用語集	36

## データブック第2期の 集計について

AMEDでは、支援先との契約時の情報に基づいた研究開発課題情報を蓄積・管理しており、1章から4章ではそのAMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計しています(1章から4章では、政府出資金事業である医療研究開発革新基盤創成事業<sup>\*1</sup>は含みません)。

5.1は公募に関するAMED公開情報等(2025年11月時点)をもとに、5.2及び5.3はe-Rad(府省共通研究開発管理システム)のデータ(2025年11月時点)をもとに集計しています。

本集計では、採択単位で集計しています。課題数並びに研究開発費の集計は年度単位で行っていますので、複数年度に渡って継続して実施されている場合は実施年度ごとに計上されます。各年度の課題のうち、課題の初年度にあたる課題が新規課題、それ以外が継続課題です。

研究開発費は、委託事業、補助事業又は基金事業における年度末の最終契約・交付金額(間接経費等を含む)です。課題の研究開発費は、各研究代表のもとで研究開発の一部を他の研究機関に分担又は再委託されたものを含めた当該年度の研究開発費の総額となっています。

本集計では、数値の表記にあたり、必要に応じて四捨五入をしています。そのため、内訳の数値の合計と合計値は必ずしも一致しません。構成比についても、合計が100とならない場合があります。

研究開発課題の性質を表す研究開発タグには、「対象疾患」、「研究の性格」、「開発フェーズ」、「承認上の分類」、「疾患領域」、「開発目的」があり、本集計ではこれらをもとに集計しています。

「対象疾患」、「研究の性格」、「開発フェーズ」、「承認上の分類」、「疾患領域」は、それぞれに予め設定された分類項目から、1つの課題に対して1分類を付与しています<sup>\*2</sup>。「開発フェーズ」の「基礎的」、「応用」については、本集計では合わせて「基礎的・応用」としています。「開発目的」は1つの課題に対して複数選択を可として分類を付与しています。

研究開発タグは、2023年度から分類項目を変更しました。本データブックでは、AMEDが策定した読み替えルールに基づき、2023年度からの研究開発タグ情報を2022年度までの研究開発タグに読み替えて集計しています。

※1 医療研究開発革新基盤創成事業については用語集を参照ください。▶P36

※2 「疾患領域」は、2020年度は1つの課題に対して複数選択を可として分類を付与、2021年度からは1つの課題に対して主たる疾患領域とその他の疾患領域の分類を付与しています。本集計では、2021年度以降の主たる疾患領域を使って集計しています。

## 第1期と第2期 概況

## 課題数と 研究開発費

第2期は、課題数13,415件で前期比113%、研究開発費8,643億円で前期比131%であった。課題数は、各年度ごとの課題の合計で、複数年度に渡って継続している課題は実施年度ごとに集計している。複数年度に渡って実施している課題をまとめて1課題とした場合は、第1期5,540課題、第2期6,583課題で、前期比119%だった。第1期から第2期への継続課題は1,740課題で、両期において集計している。

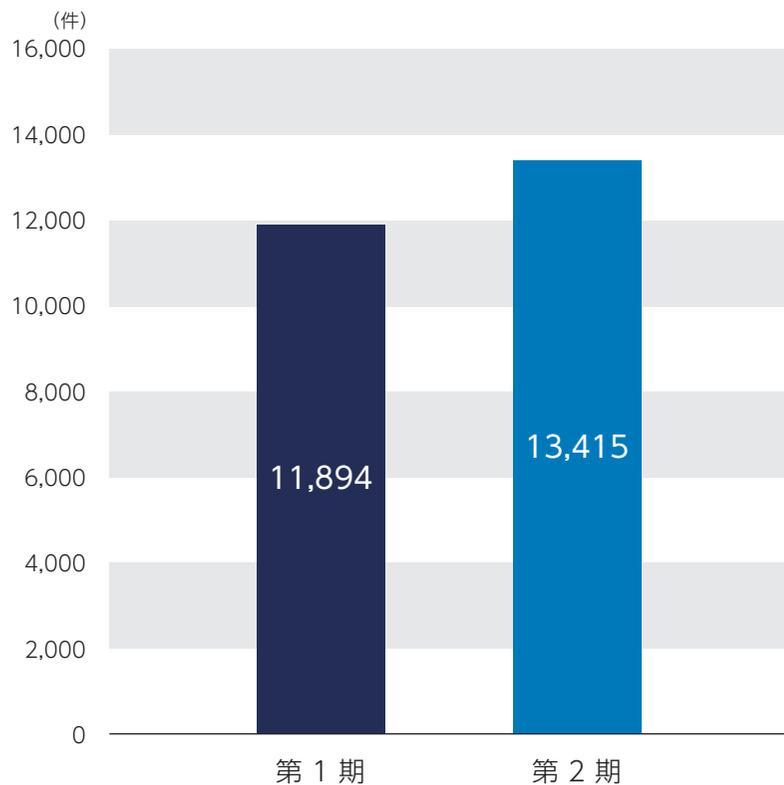


図1 課題数 第1期・第2期 比較

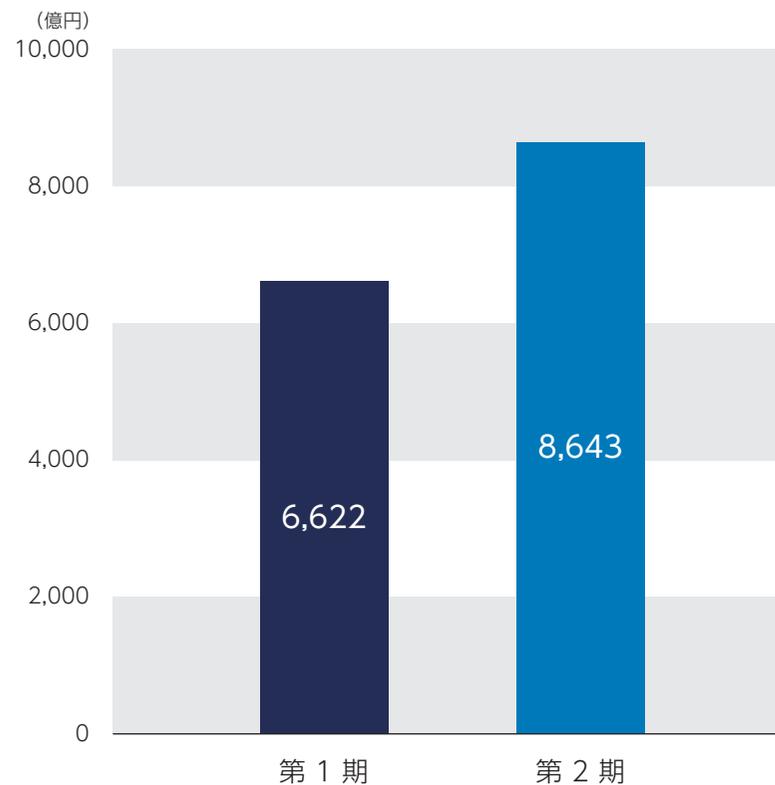


図2 研究開発費 第1期・第2期 比較

## 第1期と第2期 概況

# COVID-19

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症に対し、AMEDでは補正予算、調整費等のCOVID-19関連予算により研究開発を支援した。

課題数で見ると、第1期は29課題、0.2%、第2期は607課題、5%、研究開発費では、第1期は33億円、0.5%、第2期は1,305億円、15%である。

課題数は、各年度ごとの課題の合計で、複数年度に渡って継続している課題は実施年度ごとに集計している。複数年度に渡って実施している課題をまとめて1課題とした場合は、第1期29課題、第2期394課題だった。第1期から第2期への継続課題は3課題で、両期において集計している。

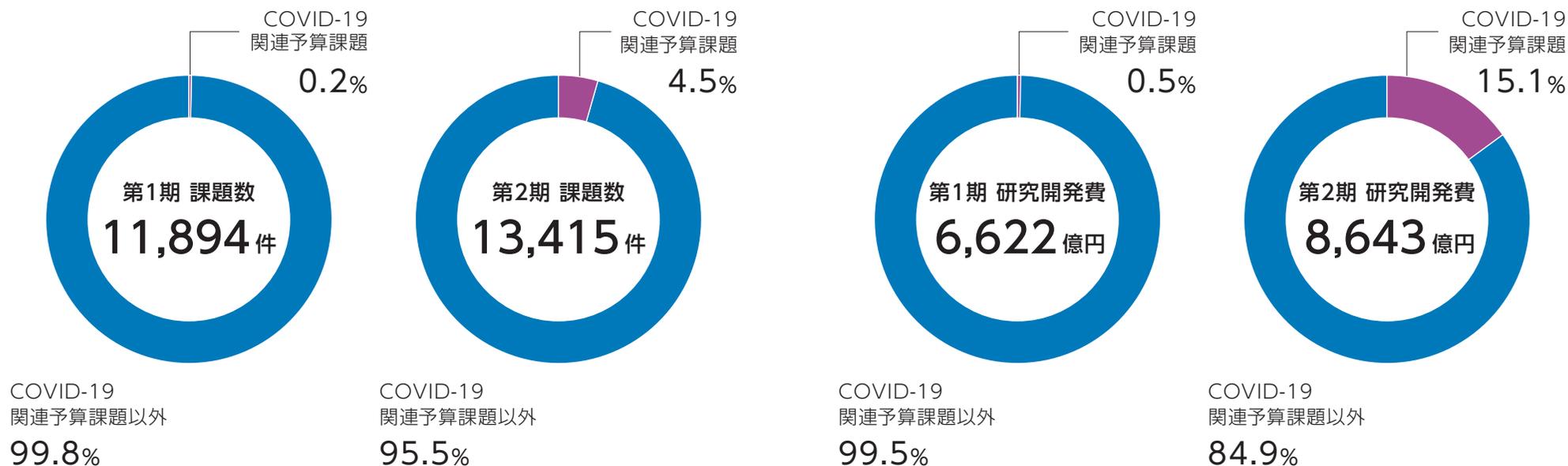


図3 COVID-19関連予算課題 課題数 第1期・第2期 比較

図4 COVID-19関連予算課題 研究開発費 第1期・第2期 比較

## 第1期と第2期 概況

## 研究機関

研究機関分類別でみると、課題数は第1期、第2期ほぼ同じ構成比であるが、研究開発費では第2期で民間企業等の割合が大きくなっており、第2期から始まった基金事業の影響がみられる。

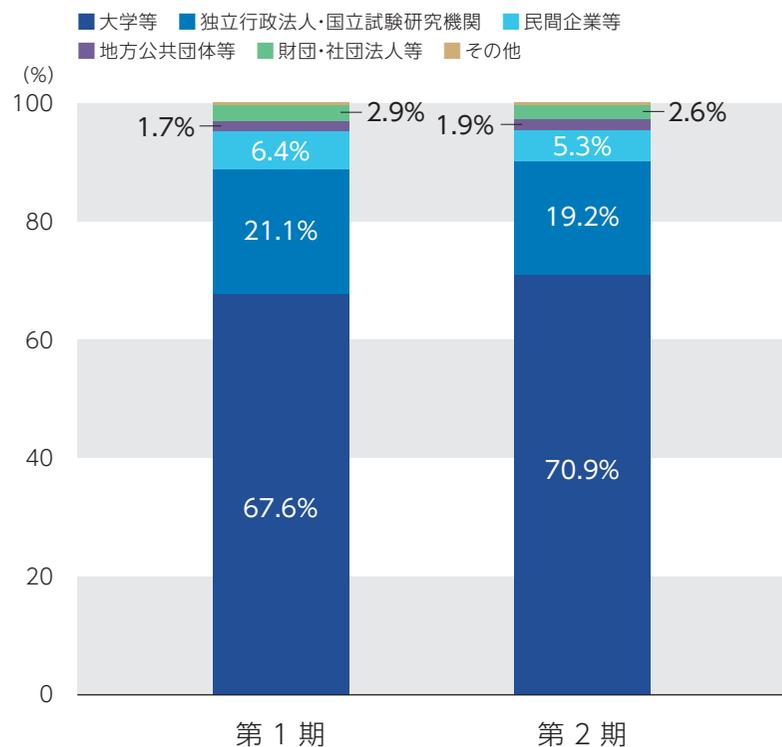


図5 研究機関分類別 課題数 第1期・第2期 比較

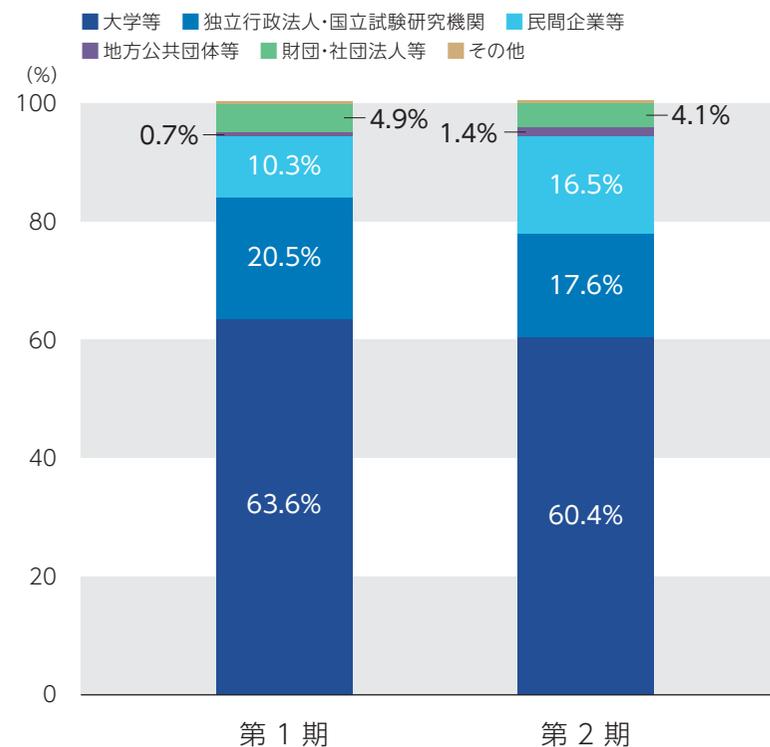


図6 研究機関分類別 研究開発費 第1期・第2期 比較

●研究機関分類については、「6.1 研究機関の分類」を参照。▶P35  
●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

●課題数は、各年度ごとの課題の合計で、複数年度に渡って継続している課題は実施年度ごとに集計。  
●グラフでは、研究機関分類が「その他」の数値を省略。

## 第1期と第2期 概況

## 新規課題 研究代表者

新規課題研究代表者は、第1期4,752人、うち女性は9%、第2期4,660人、うち女性は10%であった。  
平均年齢は、男女ともに、第1期と比べて第2期が若くなっている。

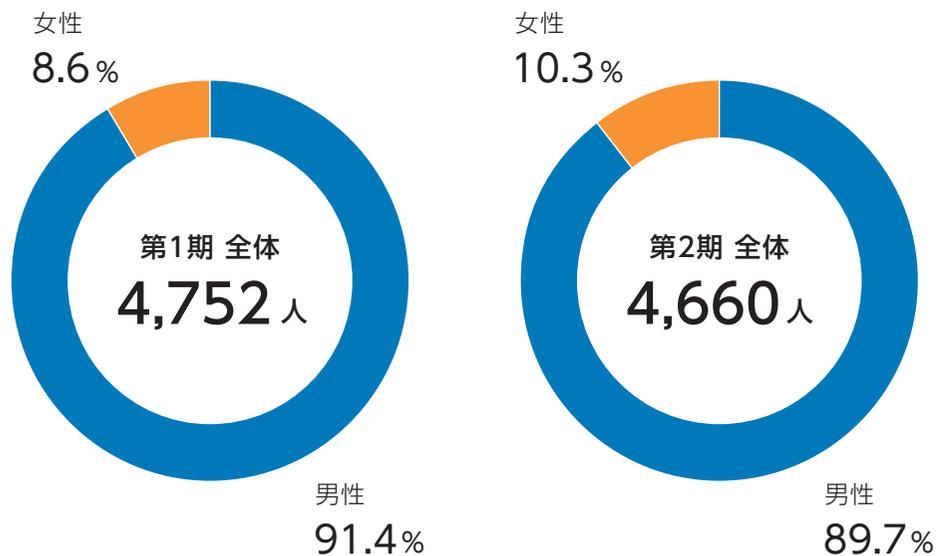


図7 新規課題研究代表者数 第1期・第2期 比較

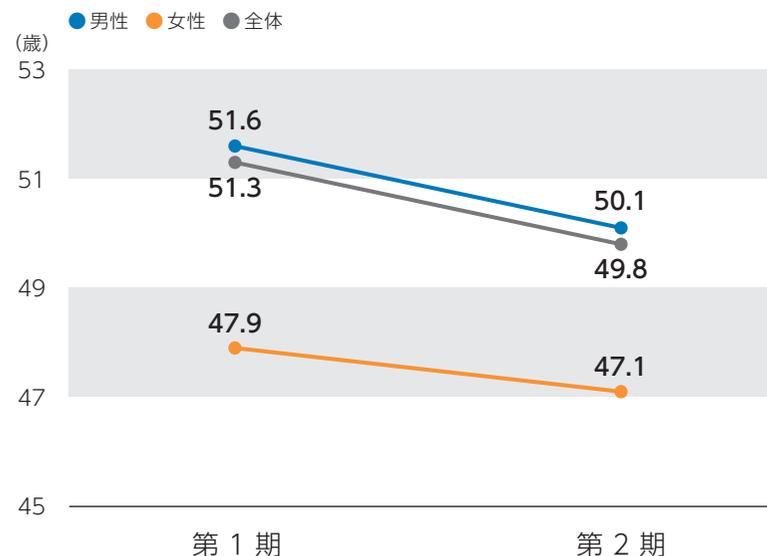


図8 新規課題研究代表者平均年齢 第1期・第2期 比較

●第1期では、AMED発足前に関係各省等による公募・採択が行われた上でAMEDに移管された2015年度公募事業を除いた。  
●研究開始年度がそれぞれの年度である課題を各年度の新規課題とした。  
●研究代表者数は各年度新規課題の延べ人数。

●e-Rad (府省共通研究開発管理システム) の採択課題情報 (全ステータス、2025年11月時点) をもとに研究者の性別及び年齢について集計。ただし、性別、生年月日が不明の者は除いた。

第1期と第2期  
概況

応募・採択

第2期では応募件数・採択件数が第1期より多いが、第1期で、2015年のAMED発足前に関係各省等による公募・採択が行われた上でAMEDに移管された2015年度公募事業を除いたことによる。採択率はほぼ変わらない。

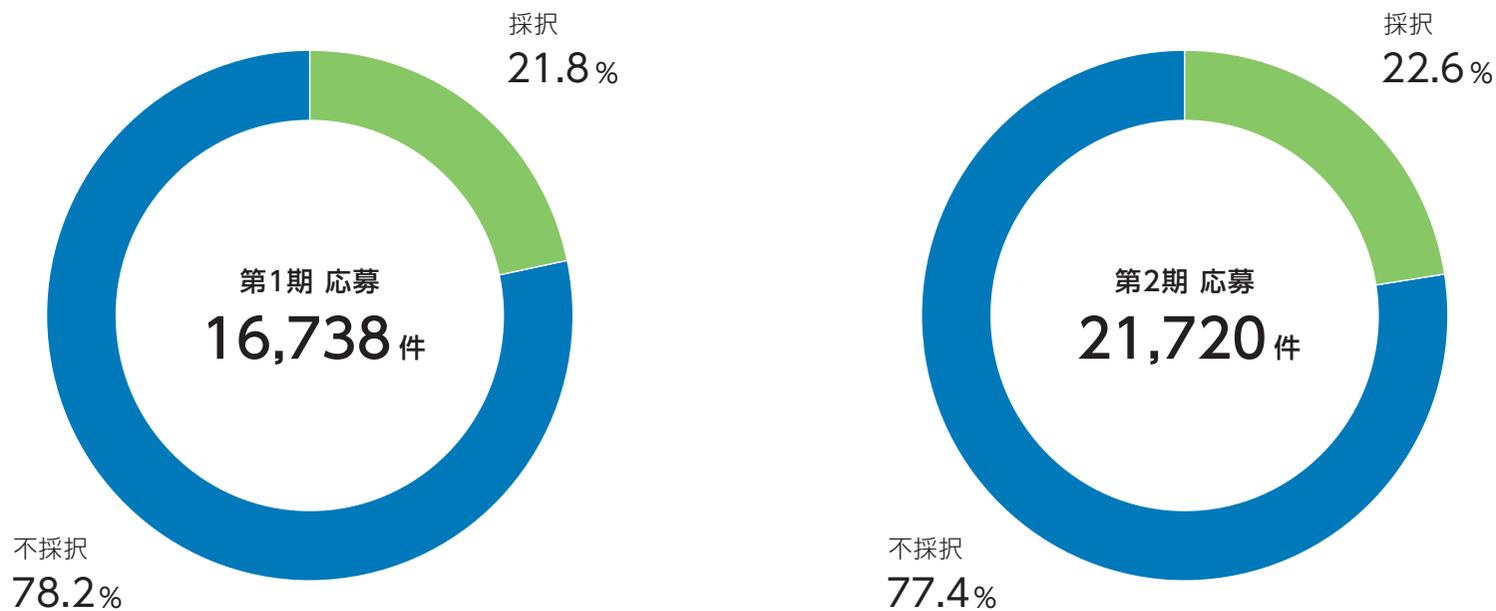


図9 応募・採択件数 第1期・第2期 比較

●採択率は、各年度に応募件数に対する採択件数の割合。  
●公募に関するAMED公開情報等(2025年11月時点)をもとに、年度毎に集計。

# 1.1 第2期全体の 課題数と研究開発費

第2期における新規課題の割合は、課題数で全体の36%、研究開発費で30%だった。

2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算が措置され、課題数、研究開発費が一時的に増加していた。過去5年間での新規課題の割合は、課題数、研究開発費ともに、2020年度が最も大きい。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算額が大きかったためである。

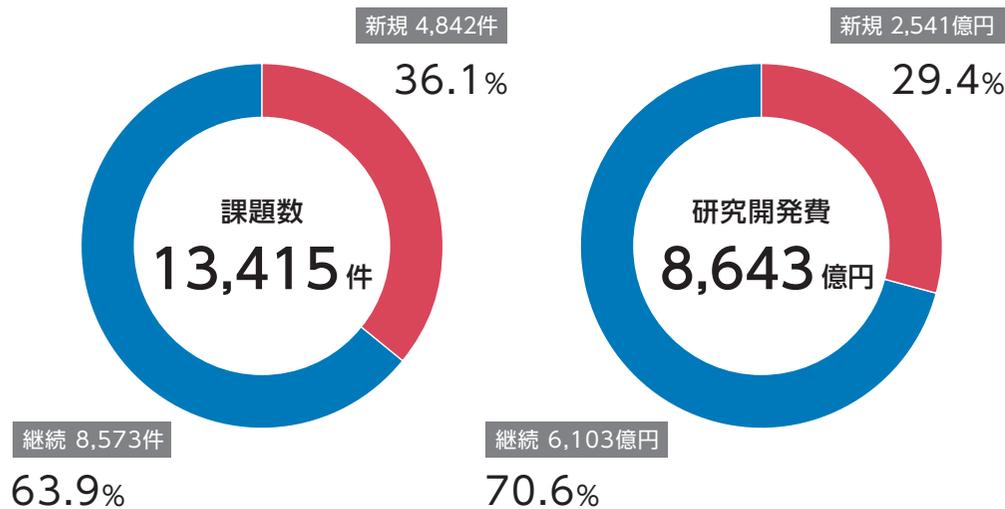


図1.1.1 第2期 課題数と研究開発費

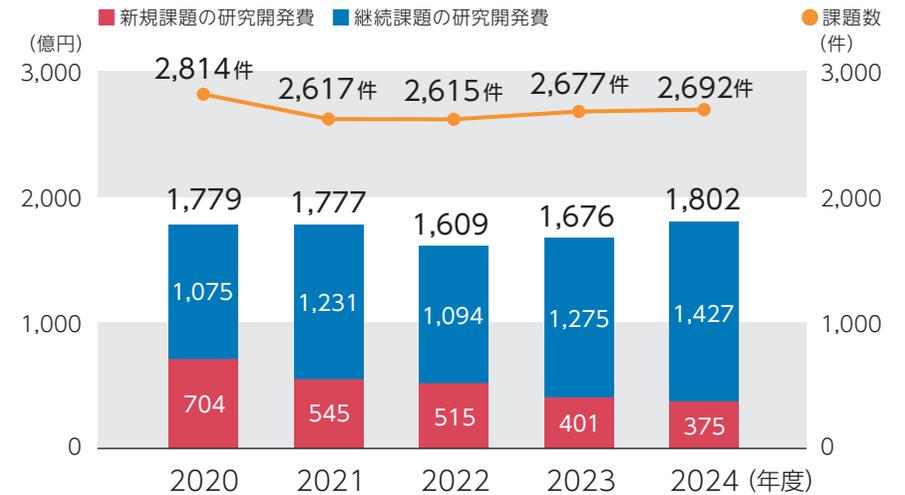


図1.1.2 課題数と研究開発費 推移

表1.1.1 課題数と研究開発費、課題あたりの研究開発費 推移

	2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			第2期合計		
	全体	全体のうち		全体	全体のうち		全体	全体のうち		全体	全体のうち		全体	全体のうち		全体	全体のうち	
		新規課題	COVID-19 関連予算課題															
課題数(件)	2,814	1,074	307	2,617	924	127	2,615	988	79	2,677	953	57	2,692	903	37	13,415	4,842	607
研究開発費(億円)	1,779	704	571	1,777	545	456	1,609	515	143	1,676	401	82	1,802	375	53	8,643	2,541	1,305
課題あたりの研究開発費(億円)	0.6	0.7	1.9	0.7	0.6	3.6	0.6	0.5	1.8	0.6	0.4	1.4	0.7	0.4	1.4	0.6	0.5	2.2

●課題あたりの研究開発費は、平均値。  
●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

1.2

課題あたりの研究開発費分布  
課題数と研究開発費

課題あたりの研究開発費についてみると、課題数では、1,000万円以上2,500万円未満の階級が4,934課題と最も多い。

研究開発費の配分では、1億円以上5億円未満の階級が2,352億円と最も多い。

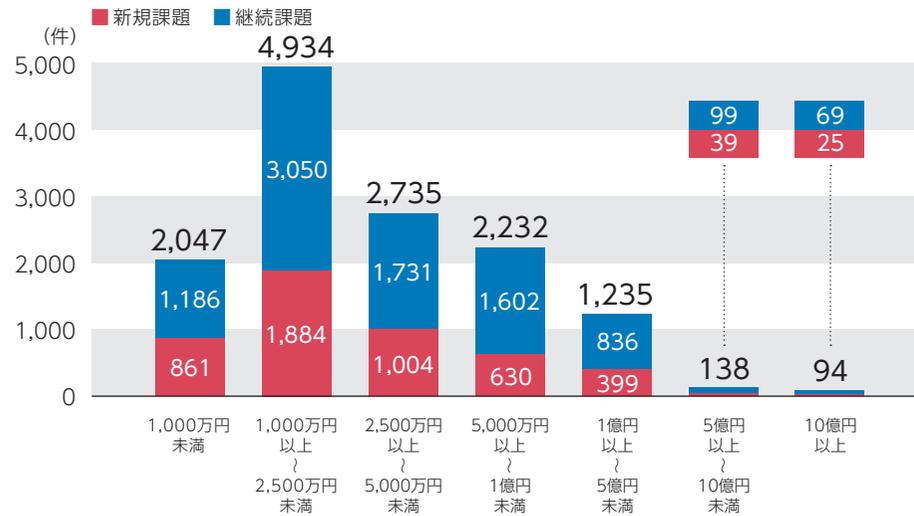


図1.2.1 第2期 課題あたりの研究開発費分布 課題数

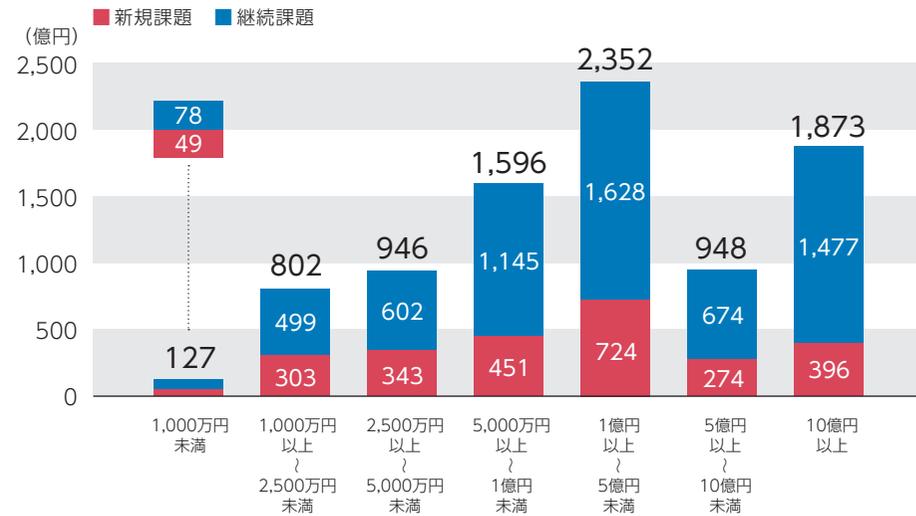


図1.2.2 第2期 課題あたりの研究開発費分布 研究開発費

表1.2.1 年度別 課題あたりの研究開発費金額階級別 課題数

(単位:件)

	1,000万円未満		1,000万円以上～2,500万円未満		2,500万円以上～5,000万円未満		5,000万円以上～1億円未満		1億円以上～5億円未満		5億円以上～10億円未満		10億円以上	
	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題
2020年度	482	163	991	413	572	230	447	127	276	123	25	8	21	10
2021年度	445	167	990	375	487	165	419	122	236	77	22	13	18	5
2022年度	383	204	981	346	535	224	439	129	230	68	36	12	11	5
2023年度	382	174	993	385	582	216	458	122	211	49	28	2	23	5
2024年度	355	153	979	365	559	169	469	130	282	82	27	4	21	—
第2期合計	2,047	861	4,934	1,884	2,735	1,004	2,232	630	1,235	399	138	39	94	25

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

表1.2.2 年度別 課題あたりの研究開発費金額階級別 研究開発費

(単位:億円)

	1,000万円未満		1,000万円以上～2,500万円未満		2,500万円以上～5,000万円未満		5,000万円以上～1億円未満		1億円以上～5億円未満		5億円以上～10億円未満		10億円以上	
	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題	全体	全体のうち新規課題
2020年度	29	9	161	67	204	84	314	90	538	248	176	56	358	149
2021年度	28	10	163	59	173	58	300	87	439	145	157	98	516	89
2022年度	23	12	157	55	184	75	317	93	443	125	238	77	247	78
2023年度	24	10	162	63	199	72	326	86	403	77	192	14	371	80
2024年度	22	9	159	59	186	53	339	96	529	129	186	29	381	—
第2期合計	127	49	802	303	946	343	1,596	451	2,352	724	948	274	1,873	396

### 1.3 統合プロジェクト別 課題数と研究開発費

#### 1) 第2期

第2期は、政府が定めた第2期の「健康・医療戦略」に基づき、6つのモダリティ(技術・手法)等を軸にした統合プロジェクトを編成し、新たな医療技術等の研究開発を推進していた。

第2期全体では、課題数、研究開発費ともに医薬品プロジェクトが最も多い。1課題あたりの支援額では、「その他」が3.3億円と大きい。「その他」には、統合プロジェクト以外のワクチン開発・生産体制強化のための研究開発等が含まれている。

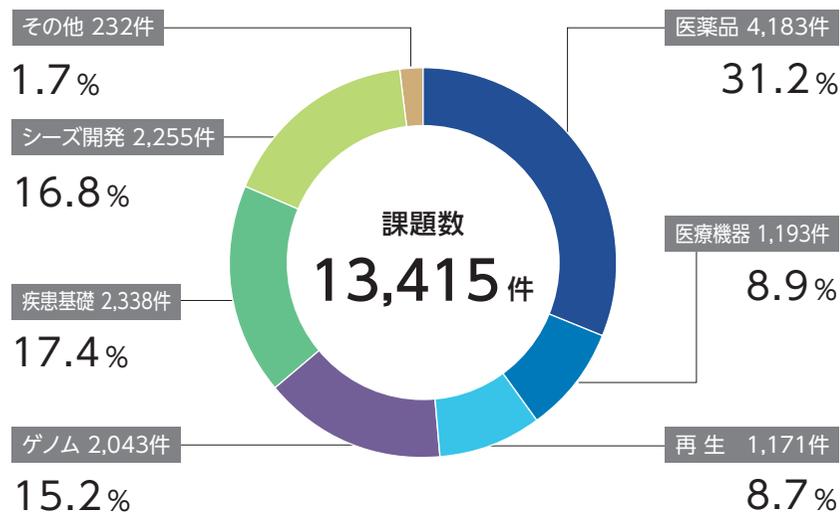


図1.3.1 第2期 統合プロジェクト別 課題数

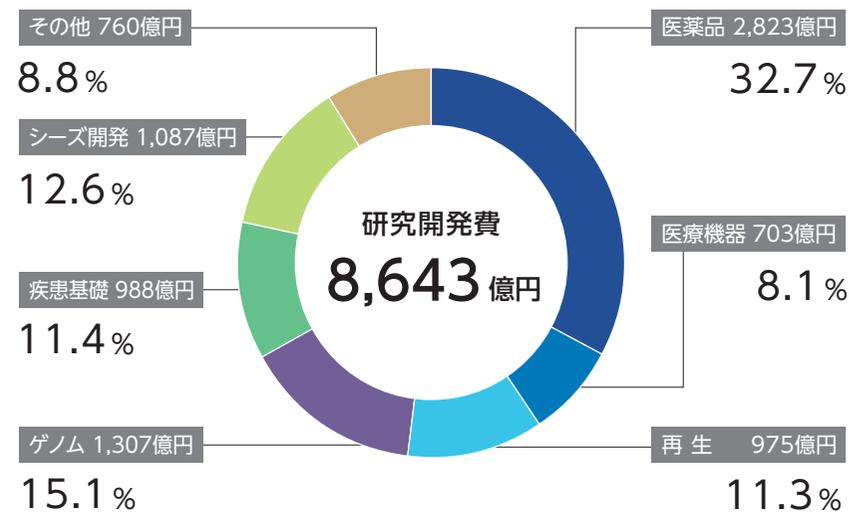


図1.3.2 第2期 統合プロジェクト別 研究開発費

表1.3.1 第2期 統合プロジェクト別 課題数と研究開発費

統合プロジェクト	統合プロジェクト略記	課題数 (件)	研究開発費 (億円)	課題あたりの研究開発費 (億円)
医薬品プロジェクト	医薬品	4,183	2,823	0.7
医療機器・ヘルスケアプロジェクト	医療機器	1,193	703	0.6
再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト	再生	1,171	975	0.8
ゲノム・データ基盤プロジェクト	ゲノム	2,043	1,307	0.6
疾患基礎研究プロジェクト	疾患基礎	2,338	988	0.4
シーズ開発・研究基盤プロジェクト	シーズ開発	2,255	1,087	0.5
その他(基金事業等)	その他	232	760	3.3
<b>合計</b>		<b>13,415</b>	<b>8,643</b>	<b>0.6</b>

●課題あたりの研究開発費は、平均値。  
●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

### 1.3 統合プロジェクト別 課題数と研究開発費

#### 2) 推移

第2期を通して、課題数及び研究開発費ともに医薬品プロジェクトが多かったが、最終の2024年度、研究開発費においてその他(基金事業等)が医薬品プロジェクトを上回った。2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算が措置され、医薬品プロジェクトの研究開発費が一時的に増加していた。「その他」には、統合プロジェクト以外のワクチン開発・推進体制強化のための研究開発等が含まれている。

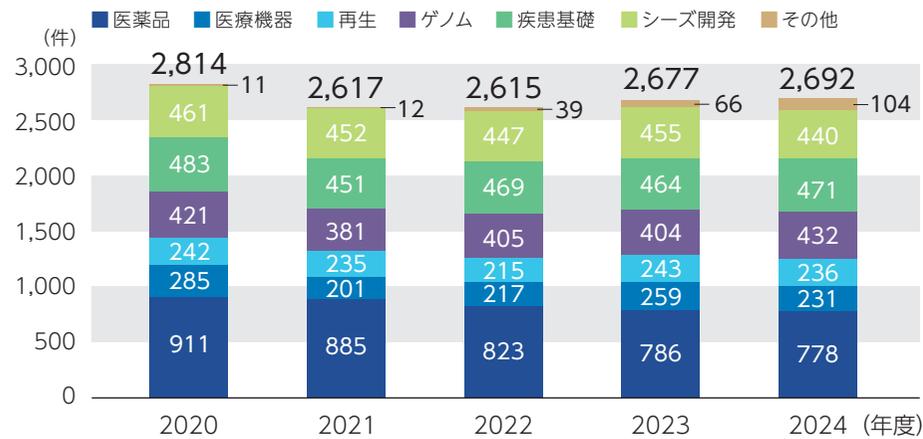


図1.3.3 統合プロジェクト別 課題数 推移

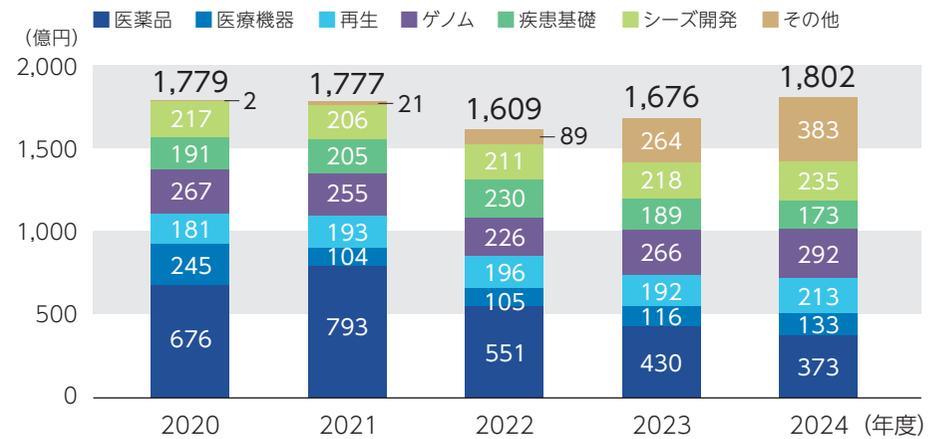


図1.3.4 統合プロジェクト別 研究開発費 推移

表1.3.2 統合プロジェクト別 課題数と研究開発費 推移

統合プロジェクト	統合プロジェクト 略記	課題数(件)					研究開発費(億円)				
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医薬品プロジェクト	医薬品	911	885	823	786	778	676	793	551	430	373
医療機器・ヘルスケアプロジェクト	医療機器	285	201	217	259	231	245	104	105	116	133
再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト	再生	242	235	215	243	236	181	193	196	192	213
ゲノム・データ基盤プロジェクト	ゲノム	421	381	405	404	432	267	255	226	266	292
疾患基礎研究プロジェクト	疾患基礎	483	451	469	464	471	191	205	230	189	173
シーズ開発・研究基盤プロジェクト	シーズ開発	461	452	447	455	440	217	206	211	218	235
その他(基金事業等)	その他	11	12	39	66	104	2	21	89	264	383
合計		2,814	2,617	2,615	2,677	2,692	1,779	1,777	1,609	1,676	1,802

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

# 1.4 研究機関分類別 課題数と研究開発費

1) 第2期 第2期では、課題数、研究開発費ともに「大学等」が最も多い。

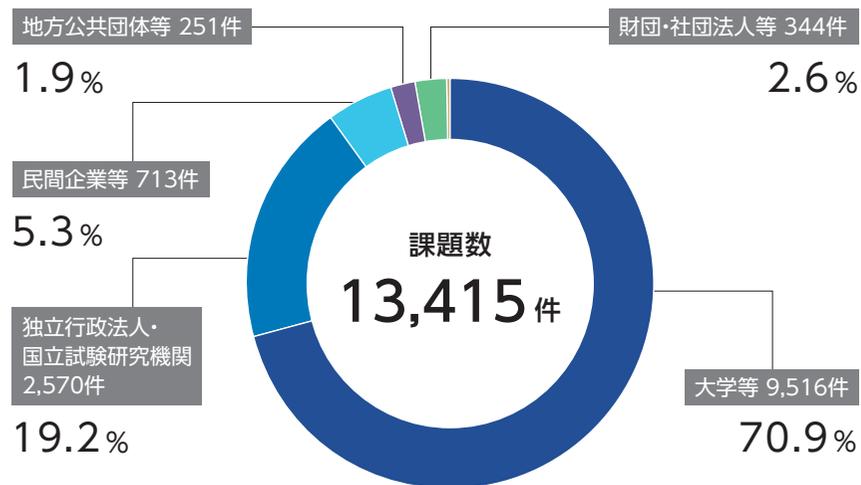


図1.4.1 第2期 研究機関分類別 課題数

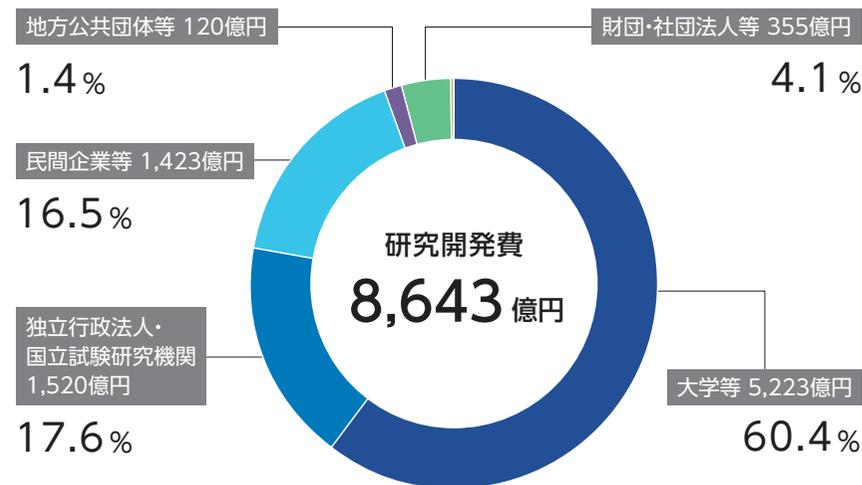


図1.4.2 第2期 研究機関分類別 研究開発費

表1.4.1 第2期 研究機関分類別 課題数と研究開発費

研究機関分類	課題数 (件)	研究開発費 (億円)
大学等	9,516	5,223
独立行政法人・国立試験研究機関	2,570	1,520
民間企業等	713	1,423
地方公共団体等	251	120
財団・社団法人等	344	355
その他	21	2
<b>合計</b>	<b>13,415</b>	<b>8,643</b>

●研究機関分類については、「6.1 研究機関の分類」を参照。▶P35 ●グラフでは、研究機関分類が「その他」の数値を省略。  
●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

# 1.4 研究機関分類別 課題数と研究開発費

## 2) 推移

第2期を通して、課題数、研究開発費ともに「大学等」が最も多い。

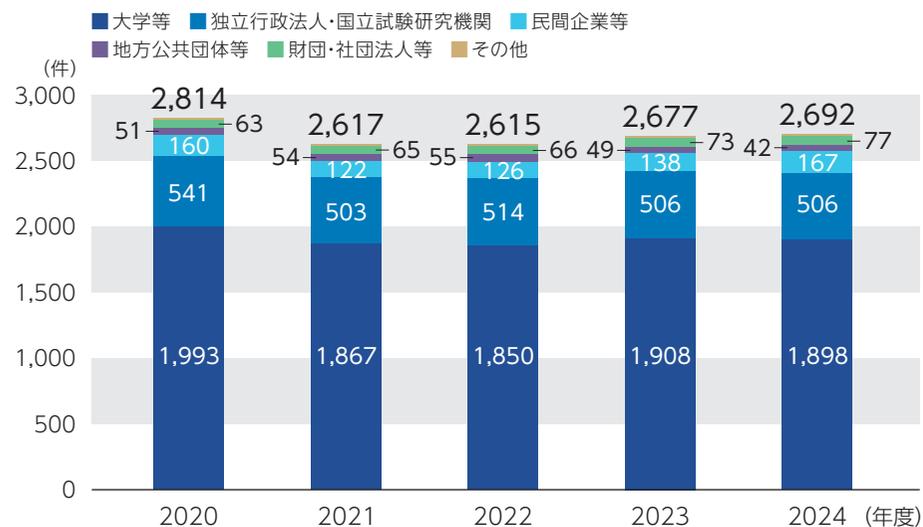


図1.4.3 研究機関分類別 課題数 推移

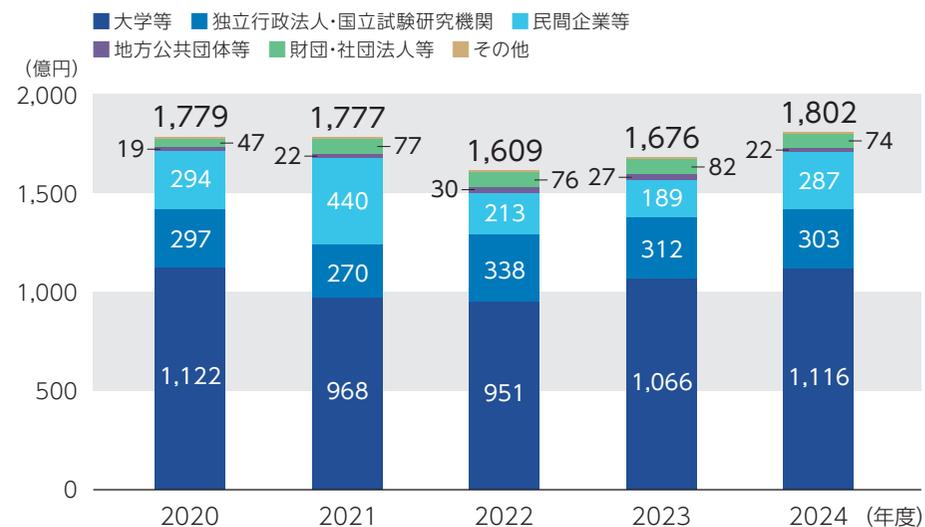


図1.4.4 研究機関分類別 研究開発費 推移

表1.4.2 研究機関分類別 課題数と研究開発費 推移

研究機関分類	課題数(件)					研究開発費(億円)				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
大学等	1,993	1,867	1,850	1,908	1,898	1,122	968	951	1,066	1,116
独立行政法人・国立試験研究機関	541	503	514	506	506	297	270	338	312	303
民間企業等	160	122	126	138	167	294	440	213	189	287
地方公共団体等	51	54	55	49	42	19	22	30	27	22
財団・社団法人等	63	65	66	73	77	47	77	76	82	74
その他	6	6	4	3	2	0.3	0.3	0.3	0.2	1
合計	2,814	2,617	2,615	2,677	2,692	1,779	1,777	1,609	1,676	1,802

●研究機関分類については、「6.1 研究機関の分類」を参照。▶P35

●グラフでは、研究機関分類が「その他」の数値を省略。

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

# 1.5 対象疾患別 1) 課題数 推移

第2期全体の課題数では、「がん(新生物)」を主な対象疾患とするものが最も多く、これに次ぐのが「特定の疾患にあてはまらないもの」、「感染症及び寄生虫症」、「神経系の疾患」である。「特定の疾患にあてはまらないもの」には、疾患横断的に研究の基盤を支える研究開発課題や、現時点では対象疾患が定まっていないが今後多様な疾患が対象となりうる基礎的な研究開発課題等が含まれる。

表1.5.1 対象疾患別 課題数 推移

対象疾患	課題数(件)					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
感染症及び寄生虫症	273	288	311	345	338	1,555
COVID-19	246	109	88	11	8	462
がん(新生物)	592	632	589	601	650	3,064
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	35	26	34	123	117	335
内分泌、栄養及び代謝疾患	96	109	103	99	97	504
精神及び行動の障害	164	126	152	140	150	732
神経系の疾患	192	190	203	316	324	1,225
循環器系の疾患	130	149	145	168	155	747
呼吸器系の疾患	60	59	51	62	62	294
消化器系の疾患	78	77	82	121	118	476
眼及び付属器の疾患	34	31	33	40	35	173
耳及び乳様突起の疾患	15	14	15	16	18	78
皮膚及び皮下組織の疾患	28	27	30	40	50	175
筋骨格系及び結合組織の疾患	71	67	82	70	70	360
尿路性器系の疾患	45	43	42	40	44	214
妊娠、分娩及び産じょく(褥)	7	10	14	14	11	56
周産期に発生した病態	11	12	11	15	13	62
先天奇形、変形及び染色体異常	39	46	46	15	17	163
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	50	32	35	4	6	127
損傷、中毒及びその他の外因の影響	59	42	41	6	7	155
傷病及び死亡の外因	2	—	1	4	4	11
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10	10	4	8	9	41
その他	29	45	70	65	55	264
特定の疾患にあてはまらないもの	518	468	432	354	333	2,105
不明	30	5	1	—	1	37
合計	2,814	2,617	2,615	2,677	2,692	13,415

- 対象疾患は、世界保健機関(WHO)が作成した「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」の2013年度版(ICD-10)の大分類(章)に、「その他」、「特定の疾患にあてはまらないもの」を加えて集計。
- AMEDでは、各課題に主な対象疾患としてICD-10疾病分類を1つ付与している。
- ICD-10では、原因不明の新たな疾患又はエマーゼンシーコードの暫定分類として「特殊目的用コード」があり、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)には「特殊目的用コード」が割り当てられている。本表では、COVID-19と表記。AMEDが支援している研究開発課題のうち、特殊目的用コードを対象とする課題は、2021年度の2課題、2022年度の1課題以外すべてCOVID-19であった。

- 「その他」はICD-10に分類できない疾患を対象としている課題である。
- AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。
- 表中のデータバーは、各年度別に、その年度のうち最も大きい数値の対象疾患を100として、それぞれの対象疾患の値の大きさを相対比により表している。ただし「不明」を除く。

# 1.5 対象疾患別 2) 研究開発費 推移

第2期全体の研究開発費では、「特定の疾患にあてはまらないもの」が最も多く、「がん(新生物)」、「感染症及び寄生虫症」と続く。  
「特定の疾患にあてはまらないもの」には疾患横断的に研究の基盤を支える研究開発課題や、現時点で対象疾患が定まっていないが今後多様な疾患が対象となりうる基礎的な研究開発課題等が含まれる。

表1.5.2 対象疾患別 研究開発費 推移

対象疾患	研究開発費(億円)					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
感染症及び寄生虫症	96	231	138	320	358	1,143
COVID-19	398	303	165	38	22	926
がん(新生物)	234	322	313	305	342	1,517
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13	10	12	49	60	143
内分泌、栄養及び代謝疾患	32	54	45	56	51	238
精神及び行動の障害	78	65	90	62	70	365
神経系の疾患	91	106	148	209	218	772
循環器系の疾患	58	69	65	62	70	325
呼吸器系の疾患	38	32	24	50	39	183
消化器系の疾患	31	30	30	55	59	205
眼及び付属器の疾患	17	16	15	29	37	114
耳及び乳様突起の疾患	4	3	4	5	6	22
皮膚及び皮下組織の疾患	10	13	17	18	19	76
筋骨格系及び結合組織の疾患	26	27	34	35	38	161
尿路性器系の疾患	18	13	14	15	18	78
妊娠、分娩及び産じょく(褥)	2	2	6	3	3	17
周産期に発生した病態	4	5	5	5	5	24
先天奇形、変形及び染色体異常	18	21	21	5	8	72
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	30	12	18	2	2	63
損傷、中毒及びその他の外因の影響	25	26	21	1	1	75
傷病及び死亡の外因	0.2	—	0.1	2	1	3
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5	3	2	2	3	15
その他	13	15	47	49	51	174
特定の疾患にあてはまらないもの	531	398	377	300	319	1,923
不明	8	1	0.1	—	0.3	9
合計	1,779	1,777	1,609	1,676	1,802	8,643

- 対象疾患は、世界保健機関(WHO)が作成した「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」の2013年度版(ICD-10)の大分類(章)に、「その他」、「特定の疾患にあてはまらないもの」を加えて集計。
- AMEDでは、各課題に主な対象疾患としてICD-10疾病分類を1つ付与している。
- ICD-10では、原因不明の新たな疾患又はエマーゼンシーコードの暫定分類として「特殊目的用コード」があり、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)には「特殊目的用コード」が割り当てられている。本表では、COVID-19と表記。AMEDが支援している研究開発課題のうち、特殊目的用コードを対象とする課題は、2021年度の2課題、2022年度の1課題以外すべてCOVID-19であった。

- 「その他」はICD-10に分類できない疾患を対象としている課題である。
- AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。
- 表中のデータバーは、各年度別に、その年度のうち最も大きい数値の対象疾患を100として、それぞれの対象疾患の値の大きさを相対比により表している。ただし「不明」を除く。

1.6

研究の性格別  
課題数と研究開発費

1) 第2期

研究の性格別では、第2期全体では、課題数と研究開発費の両方で、「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」が最も多く、「生命・病態解明等を目指す研究」、「研究基盤及び創薬基盤の整備研究」が続く。

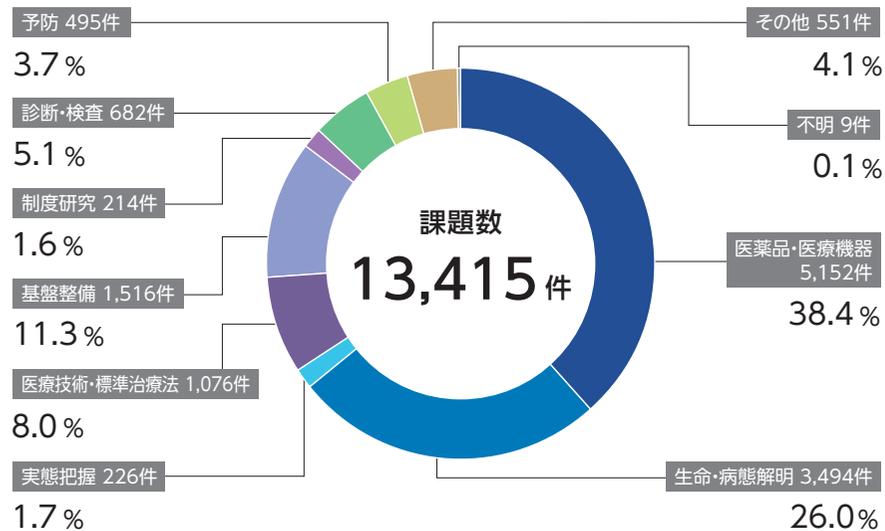


図1.6.1 第2期 研究の性格別 課題数

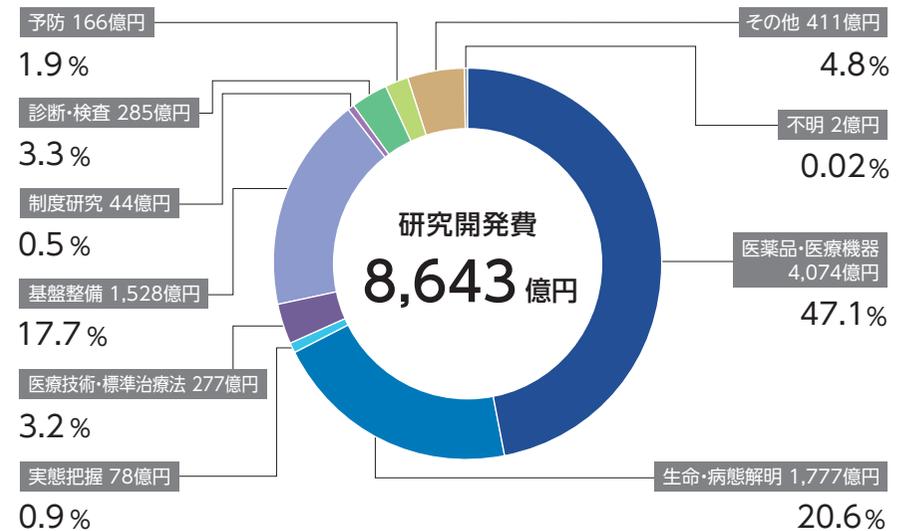


図1.6.2 第2期 研究の性格別 研究開発費

表1.6.1 第2期 研究の性格別 課題数と研究開発費

研究の性格	研究の性格略記	課題数(件)	研究開発費(億円)
医薬品・医療機器等の開発を目指す研究	医薬品・医療機器	5,152	4,074
生命・病態解明等を目指す研究	生命・病態解明	3,494	1,777
調査等の解析による実態把握を目指す研究	実態把握	226	78
医療技術・標準治療法の確立等につながる研究	医療技術・標準治療法	1,076	277
研究基盤及び創薬基盤の整備研究	基盤整備	1,516	1,528
医療薬事制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究	制度研究	214	44
新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証	診断・検査	682	285
予防のためのエビデンス構築を目指す研究	予防	495	166
その他	その他	551	411
不明	不明	9	2
<b>合計</b>		<b>13,415</b>	<b>8,643</b>

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

# 1.6 研究の性格別 課題数と研究開発費

## 2) 推移

第2期を通して、「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」、「生命・病態解明等を目指す研究」が多い。

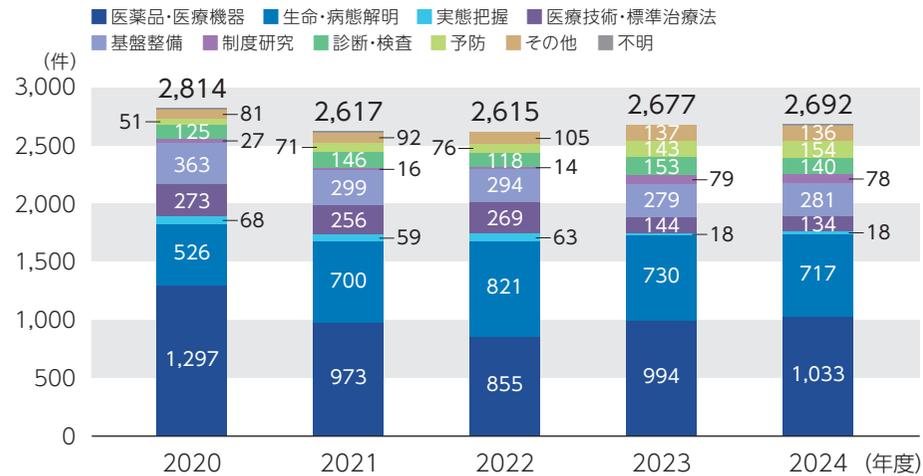


図1.6.3 研究の性格別 課題数 推移

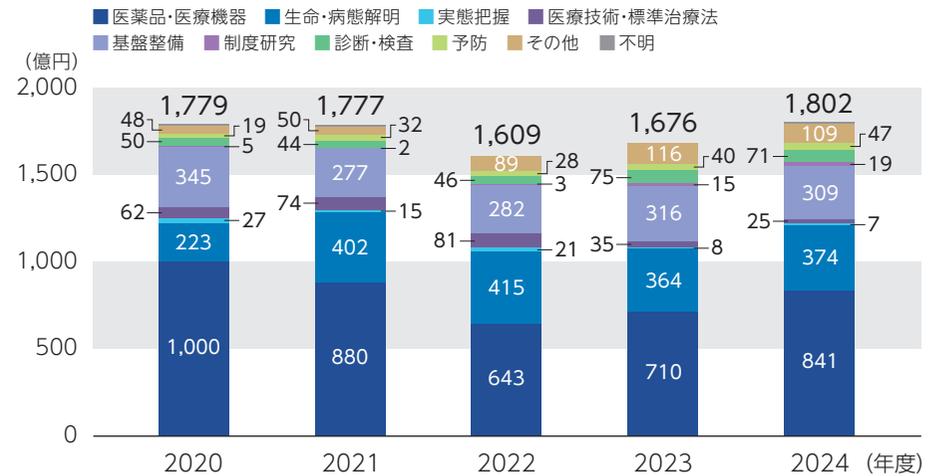


図1.6.4 研究の性格別 研究開発費 推移

表1.6.2 研究の性格別 課題数と研究開発費 推移

研究の性格	研究の性格図略記	課題数(件)					研究開発費(億円)				
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医薬品・医療機器等の開発を目指す研究	医薬品・医療機器	1,297	973	855	994	1,033	1,000	880	643	710	841
生命・病態解明等を目指す研究	生命・病態解明	526	700	821	730	717	223	402	415	364	374
調査等の解析による実態把握を目指す研究	実態把握	68	59	63	18	18	27	15	21	8	7
医療技術・標準治療法の確立等につながる研究	医療技術・標準治療法	273	256	269	144	134	62	74	81	35	25
研究基盤及び創薬基盤の整備研究	基盤整備	363	299	294	279	281	345	277	282	316	309
医療薬事制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究	制度研究	27	16	14	79	78	5	2	3	15	19
新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証	診断・検査	125	146	118	153	140	50	44	46	75	71
予防のためのエビデンス構築を目指す研究	予防	51	71	76	143	154	19	32	28	40	47
その他	その他	81	92	105	137	136	48	50	89	116	109
不明	不明	3	5	—	—	1	0.3	1	—	—	0.3
合計		2,814	2,617	2,615	2,677	2,692	1,779	1,777	1,609	1,676	1,802

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。  
●グラフでは、研究の性格が「不明」の数値を省略。

# 1.7 疾患領域別 課題数と研究開発費

2020年度からの第2期中長期計画では、政府が定めた第2期の「健康・医療戦略」に基づき、研究開発の分類に7つの疾患領域が加わった。

課題数、研究開発費の両方で「がん」、「難病」、「感染症」が多い。2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連する研究開発についての補正予算が措置され、「感染症」の研究開発費が一時的に増加していた。

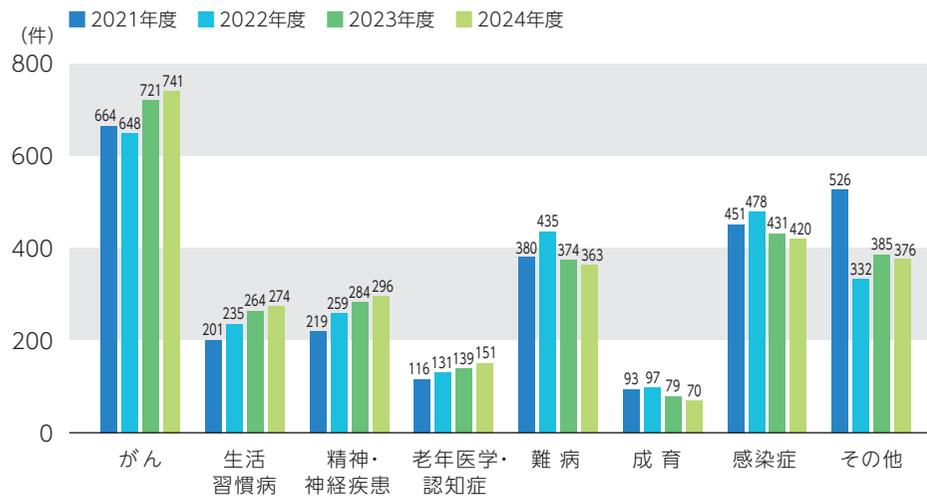


図1.7.1 疾患領域別 課題数

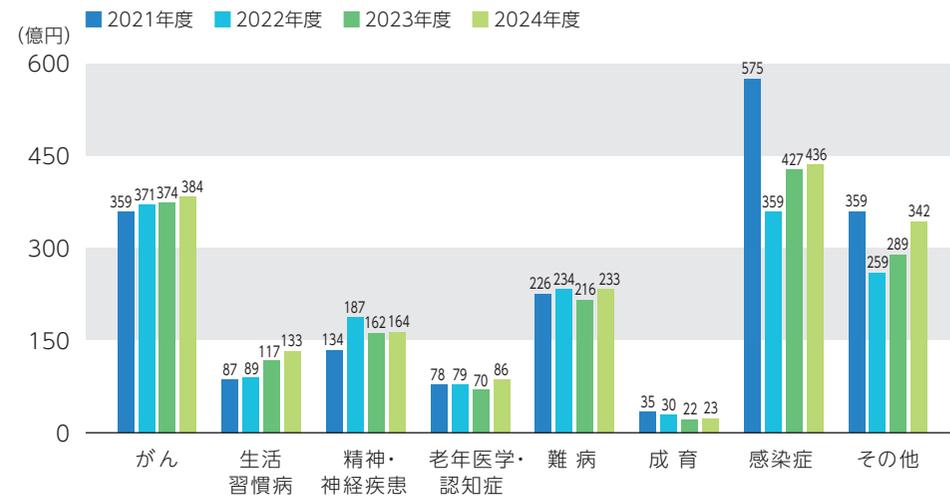


図1.7.2 疾患領域別 研究開発費

表1.7.1 疾患領域別 課題数と研究開発費

疾患領域	課題数(件)					研究開発費(億円)				
	2020年度*	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度*	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
がん	617	664	648	721	741	260	359	371	374	384
生活習慣病	246	201	235	264	274	80	87	89	117	133
精神・神経疾患	275	219	259	284	296	105	134	187	162	164
老年医学・認知症	179	116	131	139	151	108	78	79	70	86
難病	433	380	435	374	363	225	226	234	216	233
成育	64	93	97	79	70	16	35	30	22	23
感染症	631	451	478	431	420	566	575	359	427	436
その他	732	526	332	385	376	588	359	259	289	342

●2021年度は、22課題で疾患領域の複数選択があり、重複して集計している。

●「その他」には、疾患を特定できない基礎的な研究開発課題や、研究基盤・創薬基盤整備の研究開発課題等が含まれる。

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

※2020年度は、1つの課題に対して複数選択を可としていたため参考値として表1.7.1に記載。グラフには表示していない。

# 1.8 開発目的別 課題数と研究開発費

2020年度からの第2期中長期計画では、政府が定めた第2期の「健康・医療戦略」に基づき、研究開発の分類に4つの開発目的が加わった。  
課題数と研究開発費の両方で「治療」が最も多い。

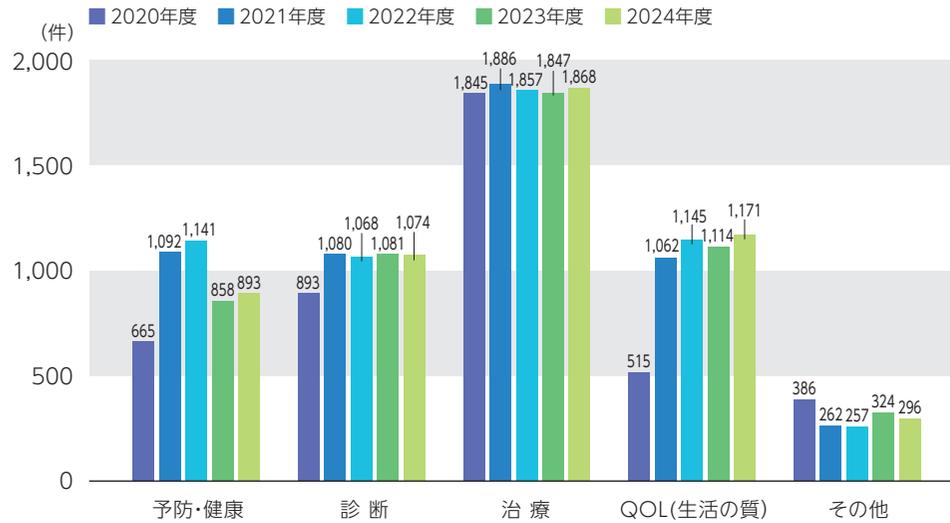


図 1.8.1 開発目的別 課題数

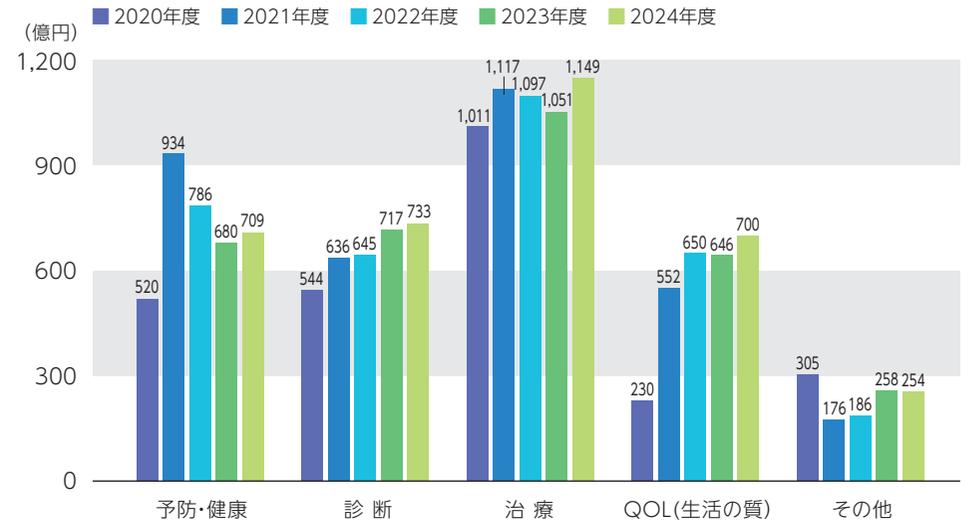


図 1.8.2 開発目的別 研究開発費

表 1.8.1 開発目的別 課題数と研究開発費

開発目的	課題数(件)					研究開発費(億円)				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
予防・健康	665	1,092	1,141	858	893	520	934	786	680	709
診断	893	1,080	1,068	1,081	1,074	544	636	645	717	733
治療	1,845	1,886	1,857	1,847	1,868	1,011	1,117	1,097	1,051	1,149
QOL(生活の質)	515	1,062	1,145	1,114	1,171	230	552	650	646	700
その他	386	262	257	324	296	305	176	186	258	254

- 1つの課題が複数の開発目的に当てはまる場合がある。
- 「その他」には、研究基盤・創薬基盤整備の研究開発課題や、生命・病態解明等を目指す研究開発課題等が含まれる。
- AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

## 2.1 開発フェーズ別 課題数と研究開発費

### 1) 第2期

「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」において、第2期は、課題数では「基礎的・応用」次いで「非臨床試験・前臨床試験」、研究開発費では「基礎的・応用」次いで「非臨床試験・前臨床試験」、「治験」が多い。

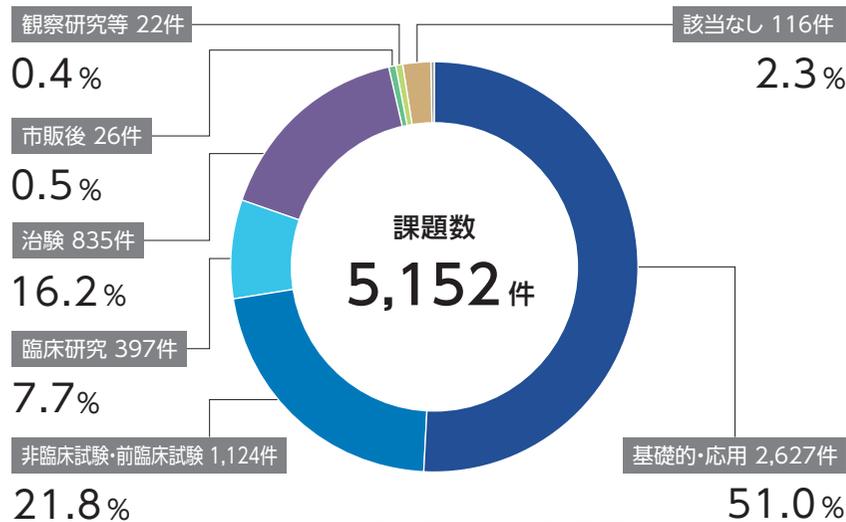


図2.1.1 第2期 開発フェーズ別 課題数  
（「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題）

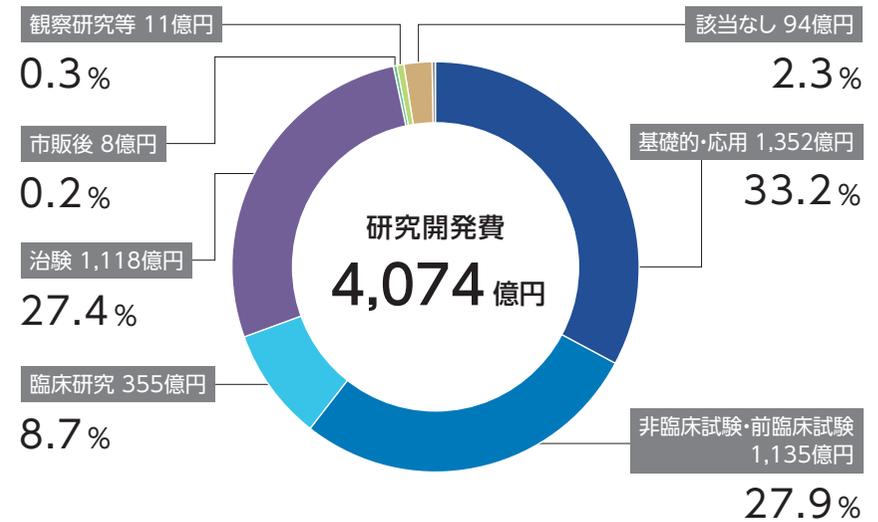


図2.1.2 第2期 開発フェーズ別 研究開発費  
（「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題）

表2.1.1 第2期 開発フェーズ別 課題数と研究開発費（「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題）

開発フェーズ	課題数 (件)	研究開発費 (億円)
基礎的・応用	2,627	1,352
非臨床試験・前臨床試験	1,124	1,135
臨床研究	397	355
治験	835	1,118
市販後	26	8
観察研究等	22	11
該当なし	116	94
不明	5	2
<b>合計</b>	<b>5,152</b>	<b>4,074</b>

- 開発フェーズの分類の付与を必須としている「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について内訳を示した。
- AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。
- グラフでは、開発フェーズが「不明」の数値を省略。

2.1

開発フェーズ別  
課題数と研究開発費

2) 推移

第2期を通して、課題数では「基礎的・応用」が最も多い。研究開発費は2023年度から「非臨床試験・前臨床試験」が、2024年度には「治験」も「基礎的・応用」を上回るようになった。基金事業の影響が大きい。

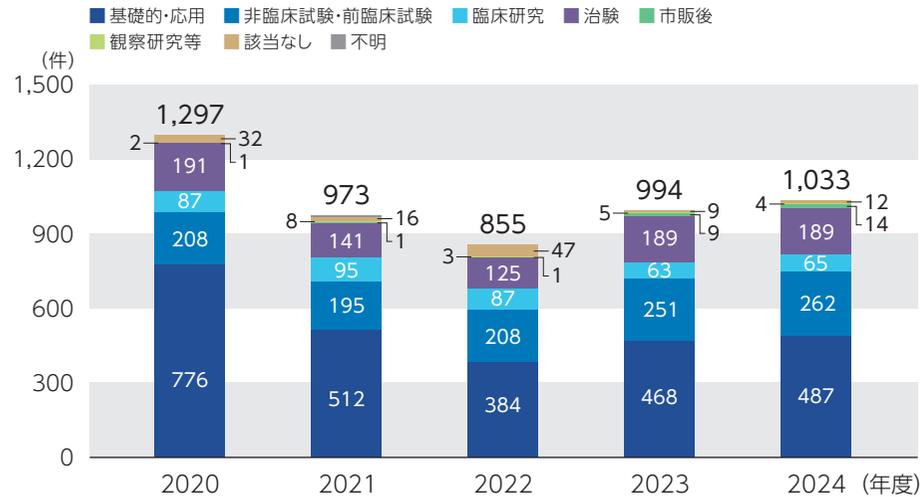


図2.1.3 開発フェーズ別 課題数 推移  
 (「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題)

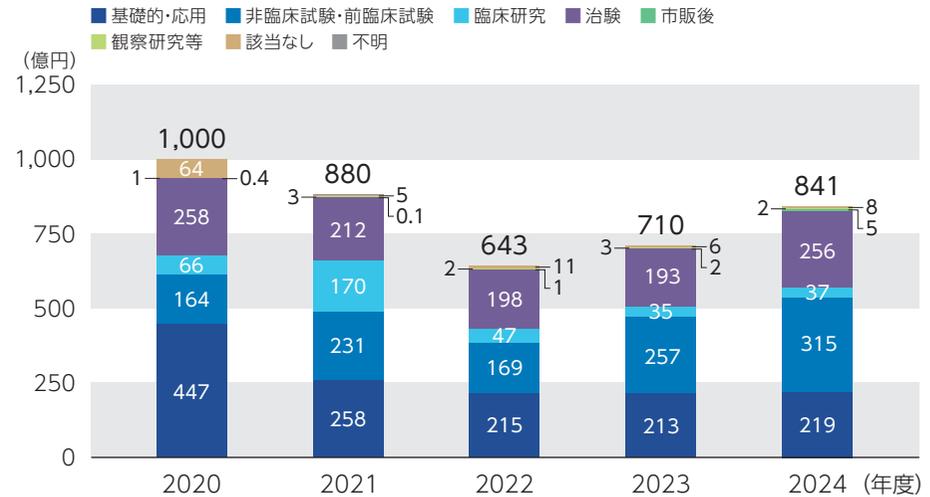


図2.1.4 開発フェーズ別 研究開発費 推移  
 (「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題)

表2.1.2 開発フェーズ別 課題数と研究開発費 推移 (「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題)

開発フェーズ	課題数(件)					研究開発費(億円)				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
基礎的・応用	776	512	384	468	487	447	258	215	213	219
非臨床試験・前臨床試験	208	195	208	251	262	164	231	169	257	315
臨床研究	87	95	87	63	65	66	170	47	35	37
治験	191	141	125	189	189	258	212	198	193	256
市販後	1	1	1	9	14	0.4	0.1	1	2	5
観察研究等	2	8	3	5	4	1	3	2	3	2
該当なし	32	16	47	9	12	64	5	11	6	8
不明	—	5	—	—	—	—	2	—	—	—
<b>合計</b>	<b>1,297</b>	<b>973</b>	<b>855</b>	<b>994</b>	<b>1,033</b>	<b>1,000</b>	<b>880</b>	<b>643</b>	<b>710</b>	<b>841</b>

●開発フェーズの分類の付与を必須としている「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について内訳を示した。  
 ●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。  
 ●グラフでは、開発フェーズが「不明」の数値を省略。

2.2

承認上の分類別  
課題数と研究開発費

1) 第2期

「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」において、第2期は、課題数と研究開発費の両方で「医薬品」が最も多い。

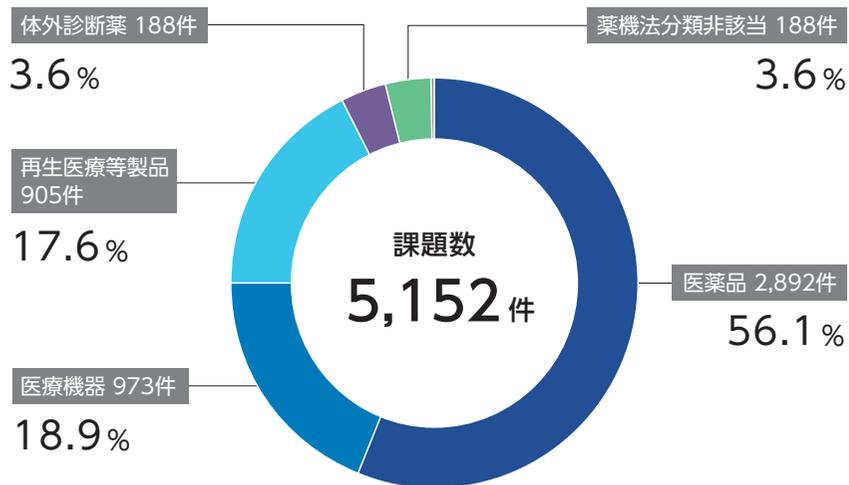


図2.2.1 第2期 承認上の分類別 課題数  
 (「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題)

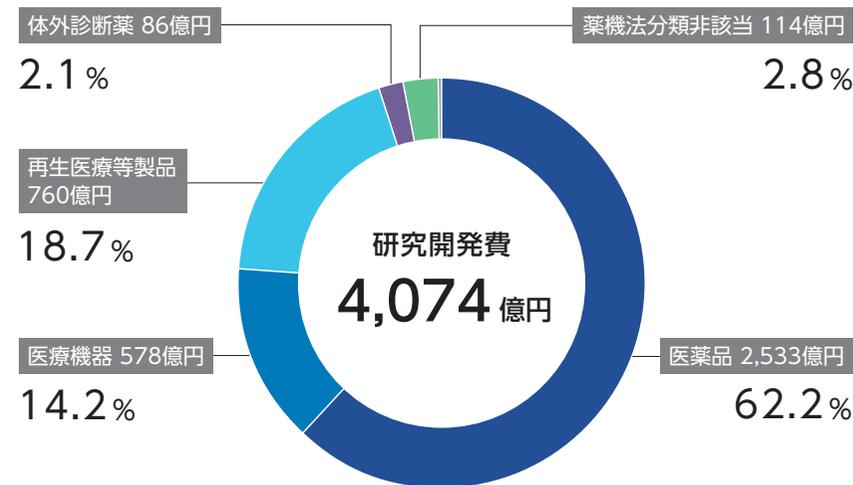


図2.2.2 第2期 承認上の分類別 研究開発費  
 (「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題)

表2.2.1 第2期 承認上の分類別 課題数と研究開発費 (「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題)

承認上の分類	課題数 (件)	研究開発費 (億円)
医薬品	2,892	2,533
医療機器	973	578
再生医療等製品	905	760
体外診断薬	188	86
薬機法分類非該当	188	114
不明	6	2
<b>合計</b>	<b>5,152</b>	<b>4,074</b>

●承認上の分類の付与を必須としている「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について内訳を示した。  
 ●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。  
 ●グラフでは、承認上の分類が「不明」の数値を省略。

2.2

承認上の分類別  
課題数と研究開発費

2) 推移

第2期を通して、課題数と研究開発費ともに「医薬品」が最も多い。

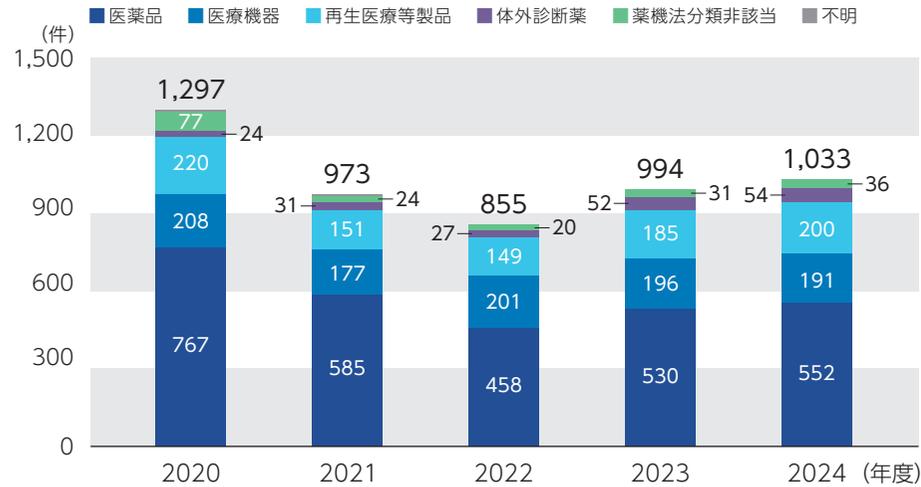


図2.2.3 承認上の分類別 課題数 推移  
(「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題)

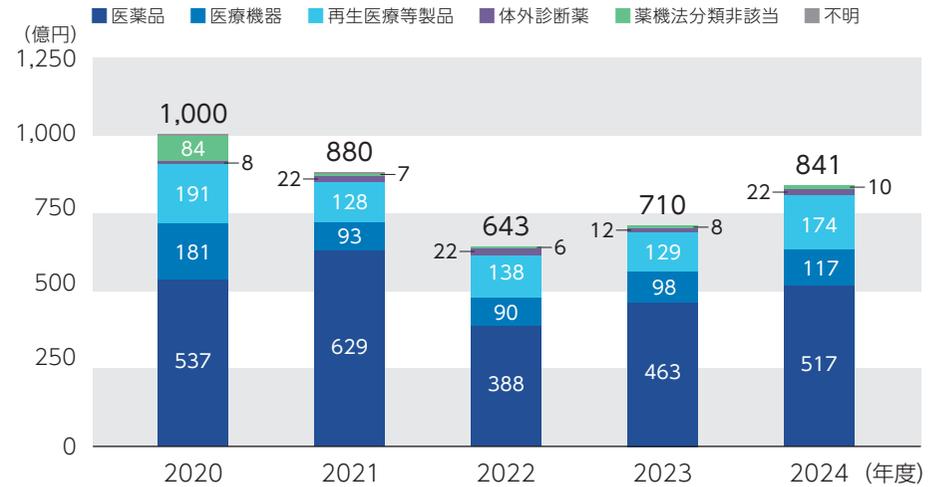


図2.2.4 承認上の分類別 研究開発費 推移  
(「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題)

表2.2.2 承認上の分類別 課題数と研究開発費 推移(「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」の課題)

承認上の分類	課題数(件)					研究開発費(億円)				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医薬品	767	585	458	530	552	537	629	388	463	517
医療機器	208	177	201	196	191	181	93	90	98	117
再生医療等製品	220	151	149	185	200	191	128	138	129	174
体外診断薬	24	31	27	52	54	8	22	22	12	22
薬機法分類非該当	77	24	20	31	36	84	7	6	8	10
不明	1	5	-	-	-	0.1	2	-	-	-
合計	1,297	973	855	994	1,033	1,000	880	643	710	841

●承認上の分類の付与を必須としている「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について内訳を示した。  
 ●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。  
 ●グラフでは、承認上の分類が「不明」の数値を省略。

### 3.1 基金事業全体の 課題数と研究開発費

基金による研究開発課題は、6つの統合プロジェクトのうち医薬品プロジェクトとシーズ開発・研究基盤プロジェクト及びその他（基金事業等）に含まれる。2020年度から開始され、ムーンショット型の研究開発やワクチン開発・生産体制強化のための研究開発等、その対象が広がっていることから、課題数は年々増加している。

2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連する研究開発についての補正予算が措置され、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連予算課題の研究開発費が一時的に増加していた。

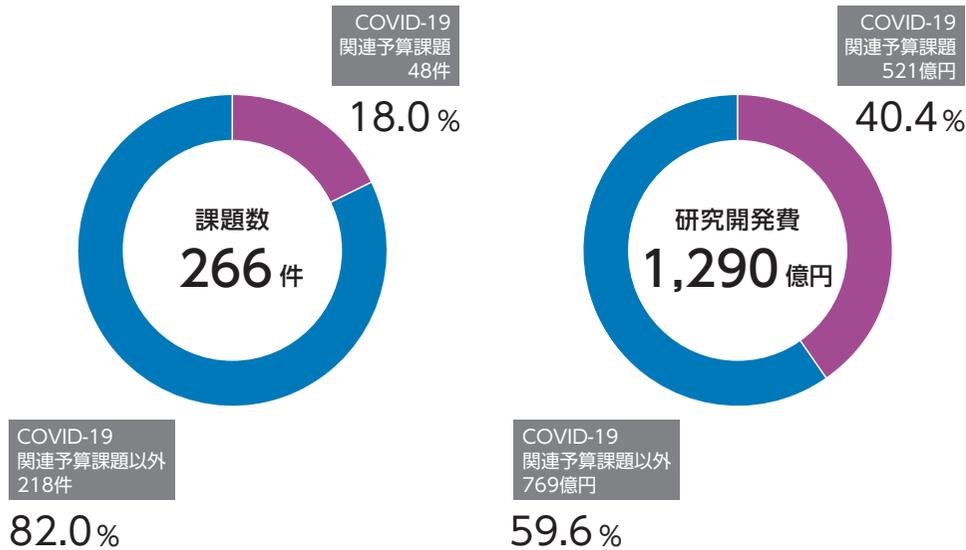


図3.1.1 第2期 課題数 (基金事業)

図3.1.2 第2期 研究開発費 (基金事業)

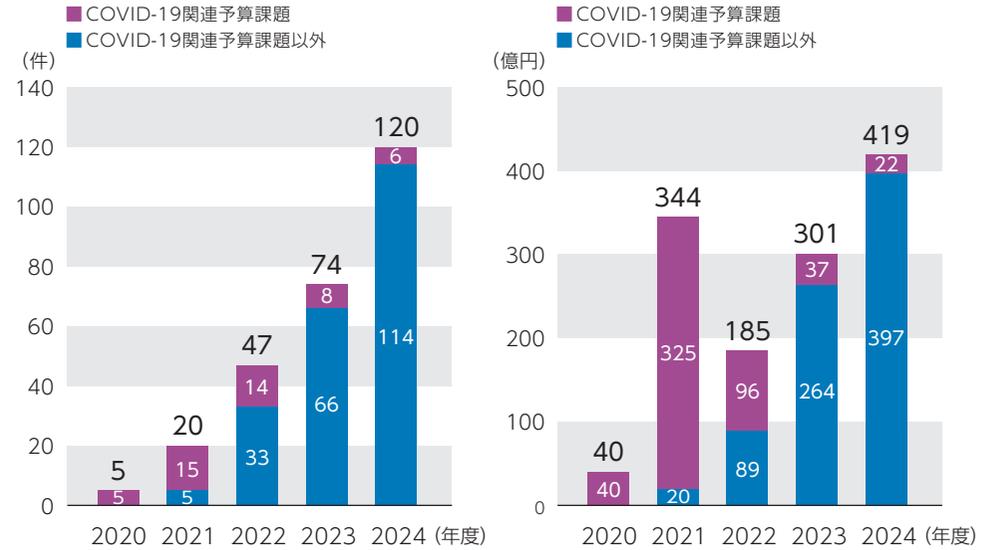


図3.1.3 課題数 推移 (基金事業)

図3.1.4 研究開発費 推移 (基金事業)

表3.1.1 課題数と研究開発費 推移 (基金事業)

	2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			第2期合計		
	AMED 全体	うち 基金事業	うち COVID-19 関連 予算課題	AMED 全体	うち 基金事業	うち COVID-19 関連 予算課題	AMED 全体	うち 基金事業	うち COVID-19 関連 予算課題	AMED 全体	うち 基金事業	うち COVID-19 関連 予算課題	AMED 全体	うち 基金事業	うち COVID-19 関連 予算課題	AMED 全体	うち 基金事業	うち COVID-19 関連 予算課題
課題数(件)	2,814	5	5	2,617	20	15	2,615	47	14	2,677	74	8	2,692	120	6	13,415	266	48
研究開発費(億円)	1,779	40	40	1,777	344	325	1,609	185	96	1,676	301	37	1,802	419	22	8,643	1,290	521

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

### 3.2 研究機関分類別 課題数と研究開発費

第2期では、課題数、研究開発費ともに「大学等」と「民間企業等」が多い。

2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算が措置され、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連予算課題を実施する「民間企業等」の研究開発費が一時的に増加していた。

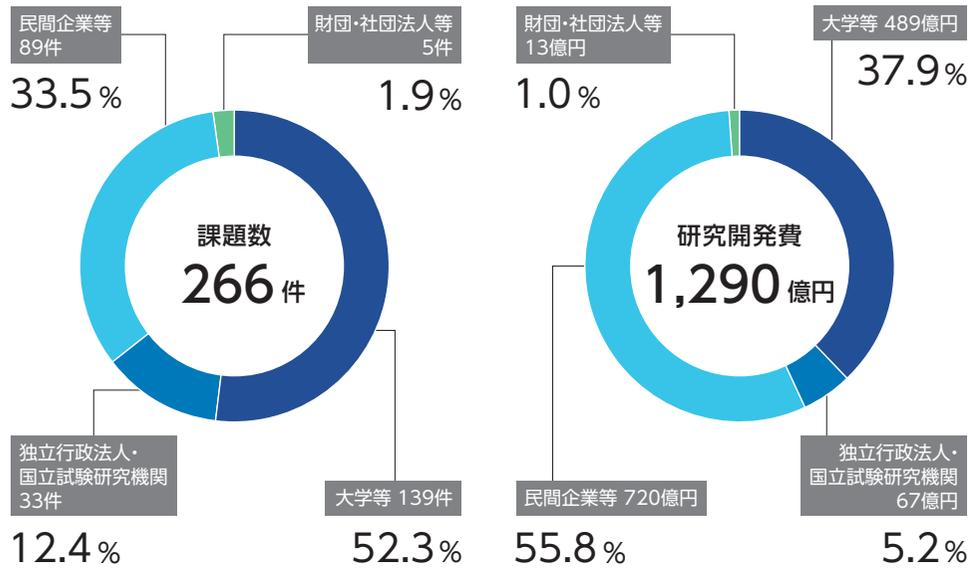


図3.2.1 第2期 研究機関分類別 課題数 (基金事業)

図3.2.2 第2期 研究機関分類別 研究開発費 (基金事業)

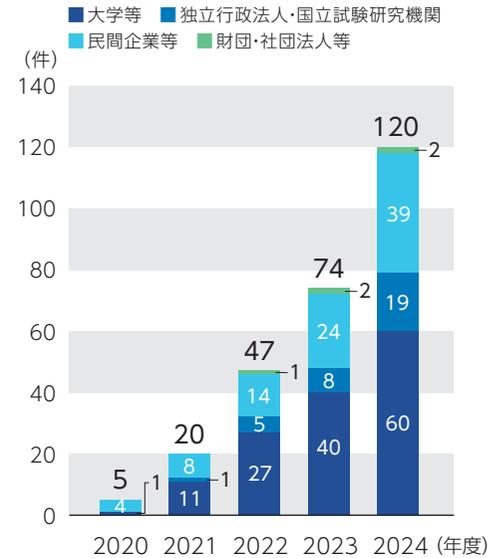


図3.2.3 研究機関分類別 課題数 推移 (基金事業)

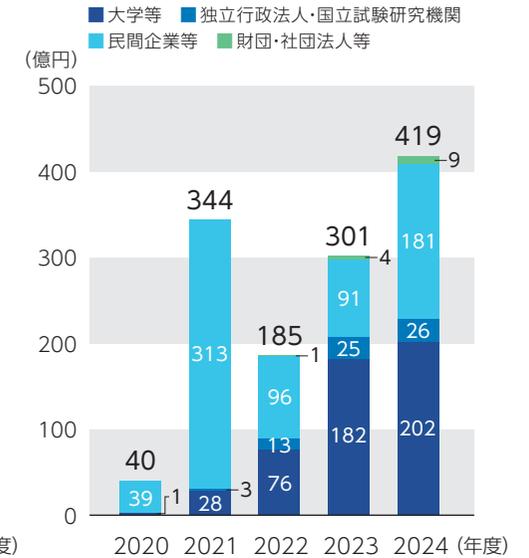


図3.2.4 研究機関分類別 研究開発費 推移 (基金事業)

表3.2.1 研究機関分類別 課題数と研究開発費 推移(基金事業)

研究機関分類	課題数(件)						研究開発費(億円)					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
大学等	1	11	27	40	60	139	1	28	76	182	202	489
独立行政法人・国立試験研究機関	—	1	5	8	19	33	—	3	13	25	26	67
民間企業等	4	8	14	24	39	89	39	313	96	91	181	720
財団・社団法人等	—	—	1	2	2	5	—	—	1	4	9	13
<b>合計</b>	<b>5</b>	<b>20</b>	<b>47</b>	<b>74</b>	<b>120</b>	<b>266</b>	<b>40</b>	<b>344</b>	<b>185</b>	<b>301</b>	<b>419</b>	<b>1,290</b>

●研究機関分類については、「6.1 研究機関の分類」を参照。▶P35

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

### 3.3 研究の性格別 課題数と研究開発費

第2期では、課題数、研究開発費ともに「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」が多い。

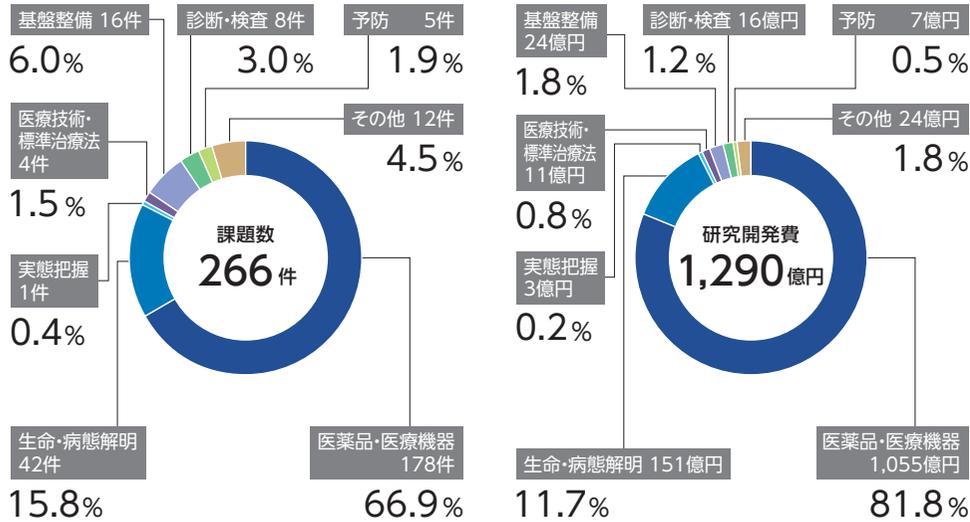


図3.3.1 第2期 研究の性格別 課題数 (基金事業)

図3.3.2 第2期 研究の性格別 研究開発費 (基金事業)

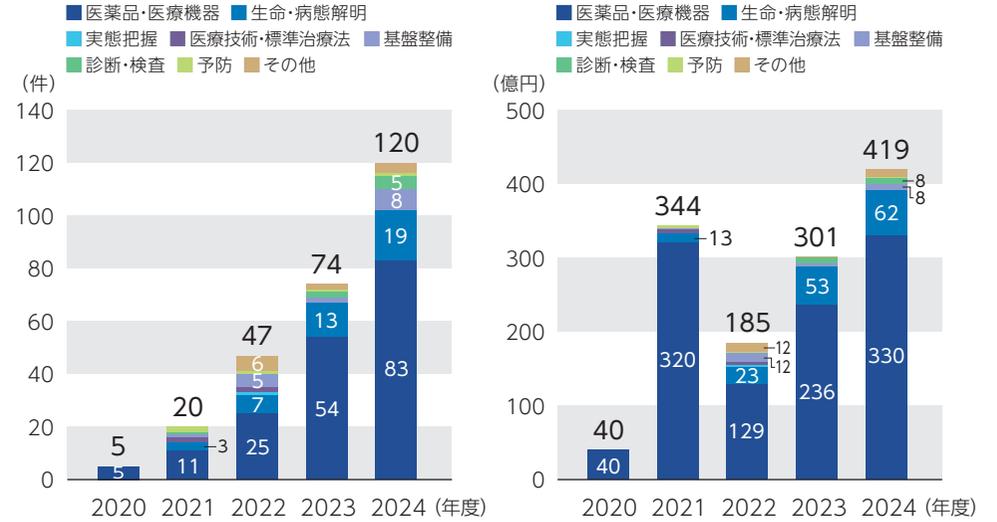


図3.3.3 研究の性格別 課題数 推移 (基金事業)

図3.3.4 研究の性格別 研究開発費 推移 (基金事業)

表3.3.1 研究の性格別 課題数と研究開発費 推移 (基金事業)

研究の性格	課題数(件)						研究開発費(億円)					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
医薬品・医療機器等の開発を目指す研究	5	11	25	54	83	178	40	320	129	236	330	1,055
生命・病態解明等を目指す研究	—	3	7	13	19	42	—	13	23	53	62	151
調査等の解析による実態把握を目指す研究	—	—	1	—	—	1	—	—	3	—	—	3
医療技術・標準治療法の確立等につながる研究	—	2	2	—	—	4	—	6	4	—	—	11
研究基盤及び創薬基盤の整備研究	—	1	5	2	8	16	—	0.3	12	4	8	24
新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証	—	1	—	2	5	8	—	1	—	7	8	16
予防のためのエビデンス構築を目指す研究	—	2	1	1	1	5	—	3	2	0.4	1	7
その他	—	—	6	2	4	12	—	—	12	1	11	24
合計	5	20	47	74	120	266	40	344	185	301	419	1,290

●「研究の性格」の略語については、「表1.6.1」を参照。▶P9  
 ●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。  
 ●グラフでは、一部の数値を省略。

### 3.4 疾患領域別 課題数と研究開発費

第2期では、課題数、研究開発費ともに「感染症」が多い。  
基金事業には、ワクチン開発・生産体制強化を目的とするものが多いためである。

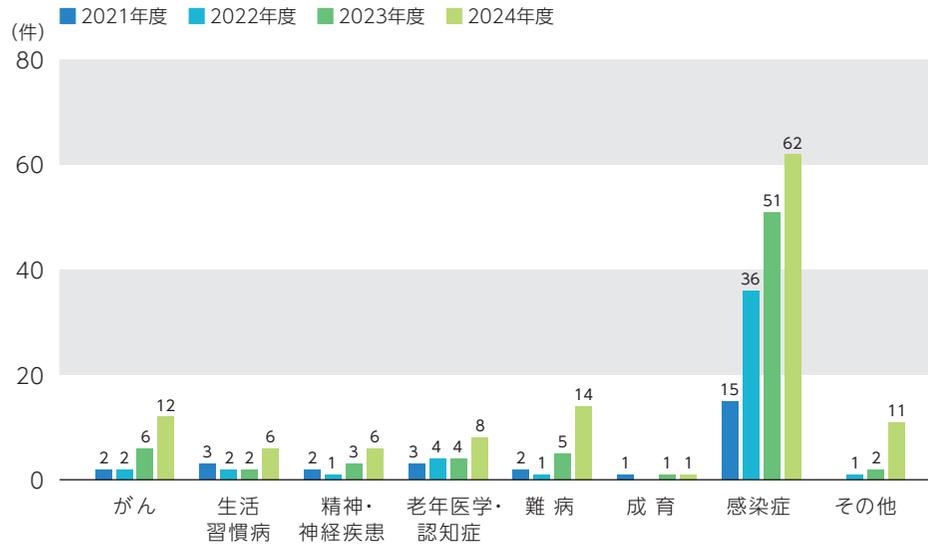


図3.4.1 疾患領域別 課題数(基金事業)

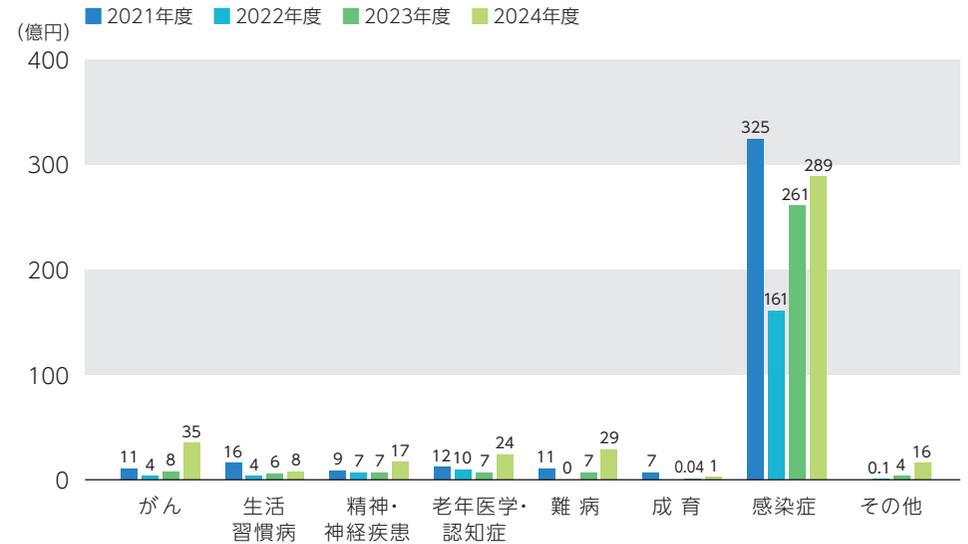


図3.4.2 疾患領域別 研究開発費(基金事業)

表3.4.1 疾患領域別 課題数と研究開発費(基金事業)

疾患領域	課題数(件)					研究開発費(億円)				
	2020年度*	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度*	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
がん	—	2	2	6	12	—	11	4	8	35
生活習慣病	—	3	2	2	6	—	16	4	6	8
精神・神経疾患	—	2	1	3	6	—	9	7	7	17
老年医学・認知症	—	3	4	4	8	—	12	10	7	24
難病	—	2	1	5	14	—	11	0	7	29
成育	—	1	—	1	1	—	7	—	0.04	1
感染症	5	15	36	51	62	40	325	161	261	289
その他	—	—	1	2	11	—	—	0.1	4	16

●2021年度は、2課題で疾患領域の複数選択があり、重複して集計している。

●「その他」には、疾患を特定できない基礎的な研究開発課題や、研究基盤・創薬基盤整備の研究開発課題等が含まれる。

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

※2020年度は、1つの課題に対して複数選択を可としていたため参考値として表3.4.1に記載。グラフには表示していない。

### 3.5 開発目的別 課題数と研究開発費

第2期では、課題数、研究開発費ともに「予防・健康」が多い。  
基金事業には、ワクチン開発・生産体制強化を目的とするものが多いためである。

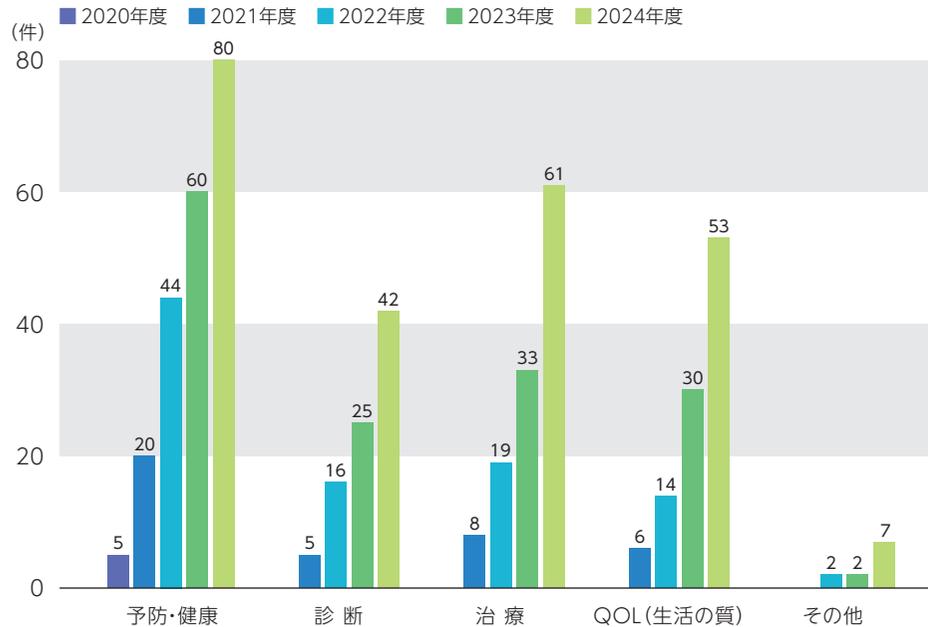


図3.5.1 開発目的別 課題数(基金事業)

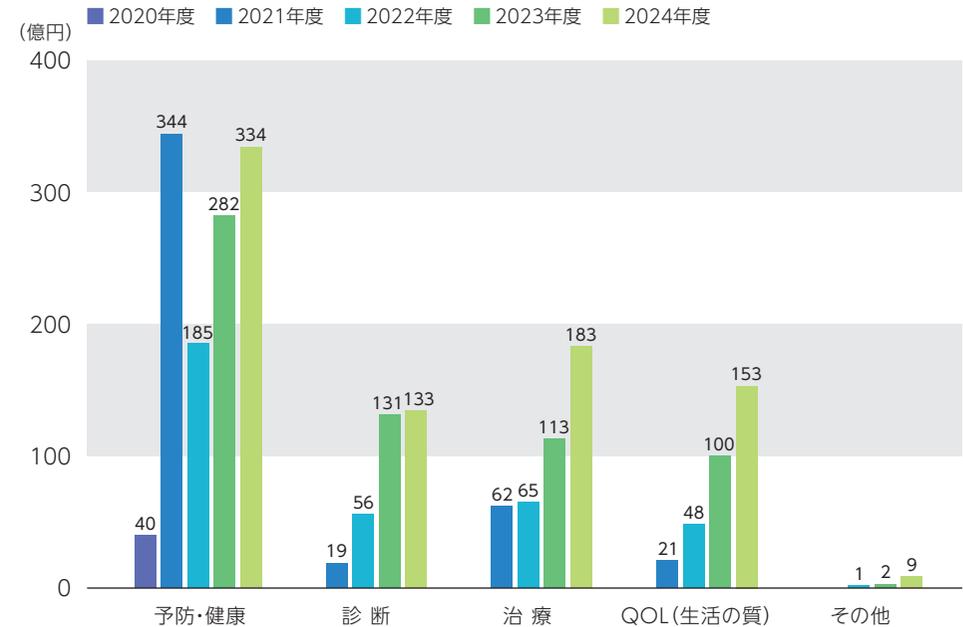


図3.5.2 開発目的別 研究開発費(基金事業)

表3.5.1 開発目的別 課題数と研究開発費(基金事業)

開発目的	課題数(件)					研究開発費(億円)				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
予防・健康	5	20	44	60	80	40	344	185	282	334
診断	—	5	16	25	42	—	19	56	131	133
治療	—	8	19	33	61	—	62	65	113	183
QOL(生活の質)	—	6	14	30	53	—	21	48	100	153
その他	—	—	2	2	7	—	—	1	2	9

●「開発目的」は、1つの課題に対して複数選択を可として分類している。  
●「その他」には、研究基盤・創薬基盤整備の研究開発課題や、生命・病態解明等を旨とする研究開発課題等が含まれる。  
●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

### 3.6 開発フェーズ別 課題数と研究開発費

「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」において、第2期は、課題数では「非臨床試験・前臨床試験」、研究開発費では「治験」が最も多い。

2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算が措置され、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連予算課題の研究開発費が一時的に増加していた。

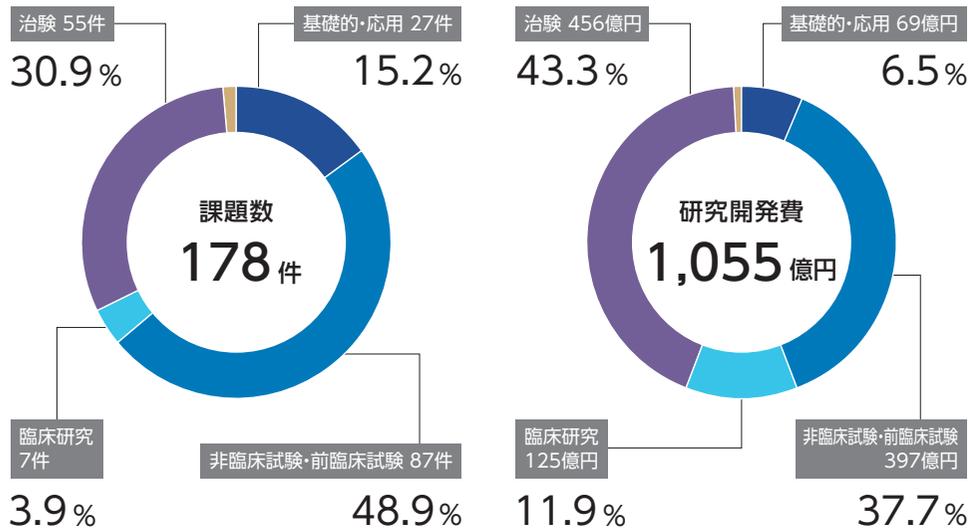


図3.6.1 第2期 開発フェーズ別 課題数  
(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

図3.6.2 第2期 開発フェーズ別 研究開発費  
(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

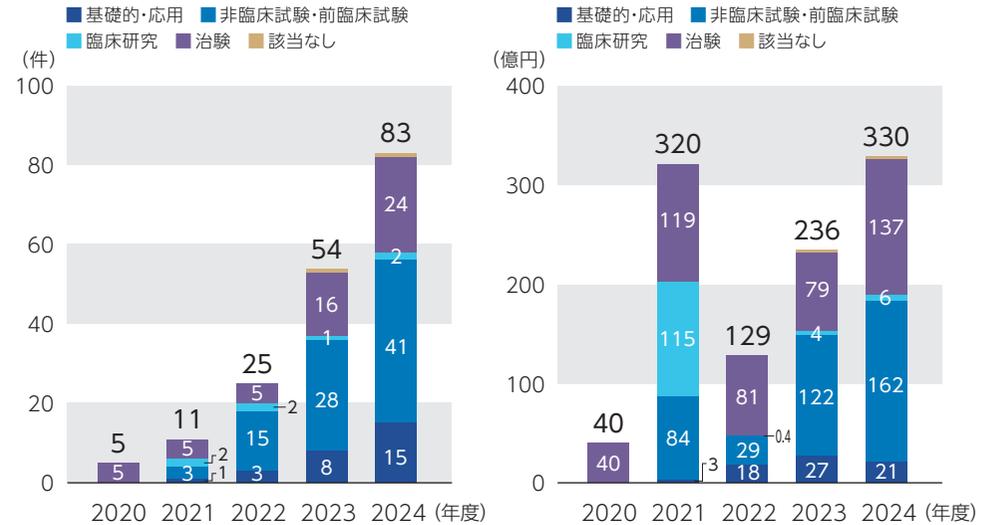


図3.6.3 開発フェーズ別 課題数 推移  
(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

図3.6.4 開発フェーズ別 研究開発費 推移  
(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

表3.6.1 開発フェーズ別 課題数と研究開発費 推移(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

開発フェーズ	課題数(件)						研究開発費(億円)					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
基礎的・応用	—	1	3	8	15	27	—	3	18	27	21	69
非臨床試験・前臨床試験	—	3	15	28	41	87	—	84	29	122	162	397
臨床研究	—	2	2	1	2	7	—	115	0.4	4	6	125
治験	5	5	5	16	24	55	40	119	81	79	137	456
該当なし	—	—	—	1	1	2	—	—	—	3	3	7
合計	5	11	25	54	83	178	40	320	129	236	330	1,055

●開発フェーズの分類の付与を必須としている「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について内訳を示した。  
●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。  
●グラフでは、開発フェーズが「該当なし」の数値を省略。

### 3.7 承認上の分類別 課題数と研究開発費

「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」において、第2期は、課題数、研究開発費の両方で「医薬品」が最も多い。

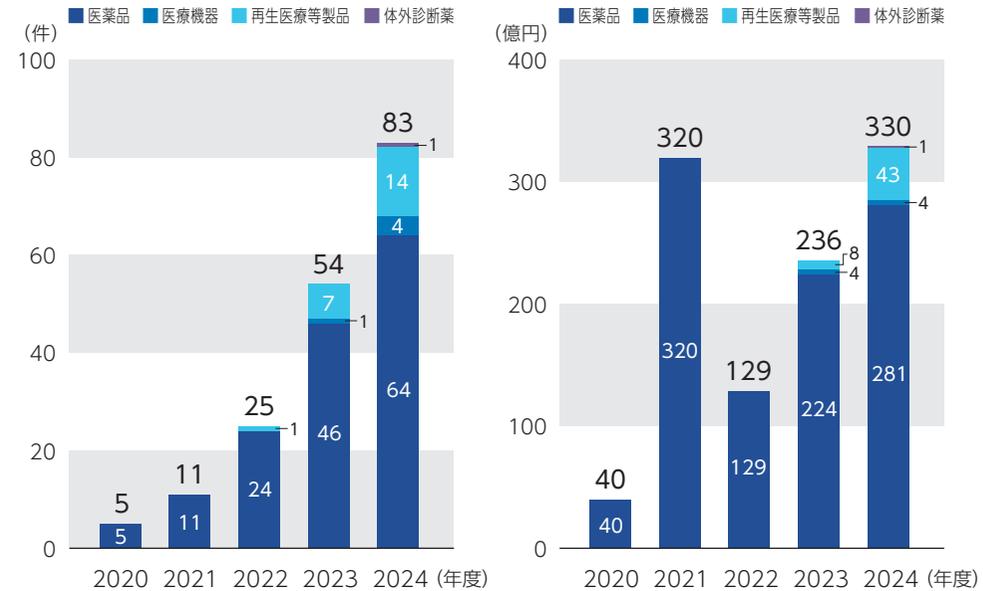
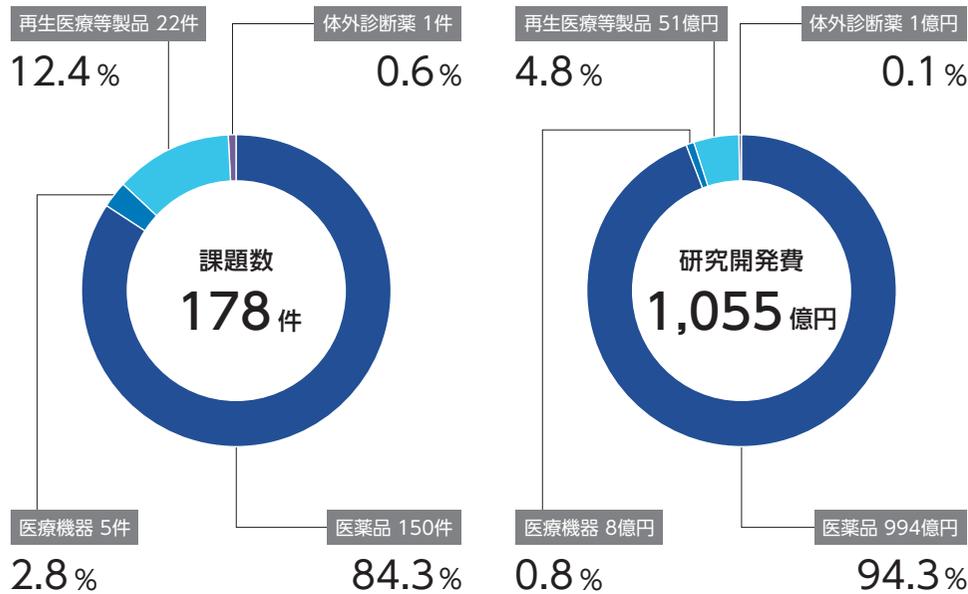


図3.7.1 第2期 承認上の分類別 課題数  
(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

図3.7.2 第2期 承認上の分類別 研究開発費  
(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

図3.7.3 承認上の分類別 課題数 推移  
(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

図3.7.4 承認上の分類別 研究開発費 推移  
(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

表3.7.1 承認上の分類別 課題数と研究開発費 推移(基金事業、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

承認上の分類	課題数(件)						研究開発費(億円)					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
医薬品	5	11	24	46	64	150	40	320	129	224	281	994
医療機器	—	—	—	1	4	5	—	—	—	4	4	8
再生医療等製品	—	—	1	7	14	22	—	—	0	8	43	51
体外診断薬	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	1	1
合計	5	11	25	54	83	178	40	320	129	236	330	1,055

●承認上の分類の付与を必須としている「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について内訳を示した。  
●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

# 4.1 COVID-19関連予算による研究開発全体の課題数と研究開発費

2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算が措置された。

COVID-19関連予算課題は、第2期全体で、課題数では5%、研究開発費では15%を占める。

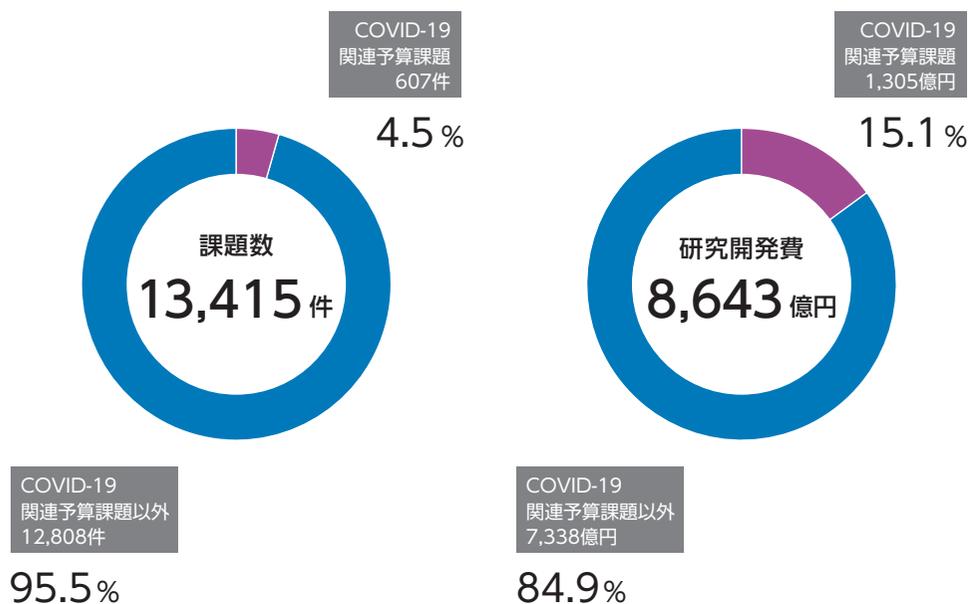


図4.1.1 第2期 課題数 (COVID-19関連予算による研究開発)

図4.1.2 第2期 研究開発費 (COVID-19関連予算による研究開発)

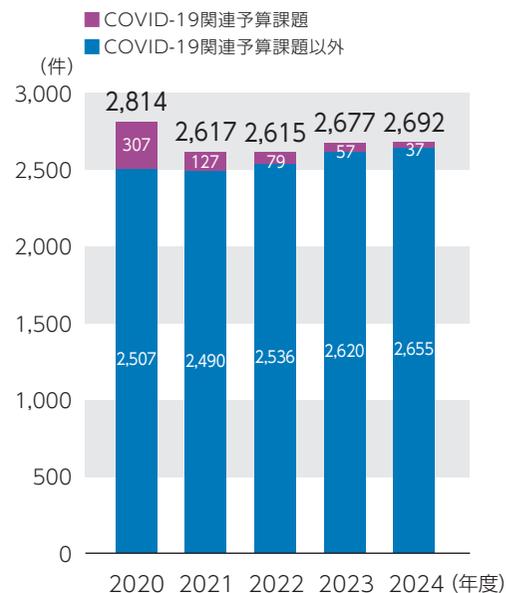


図4.1.3 課題数 推移 (COVID-19関連予算による研究開発)

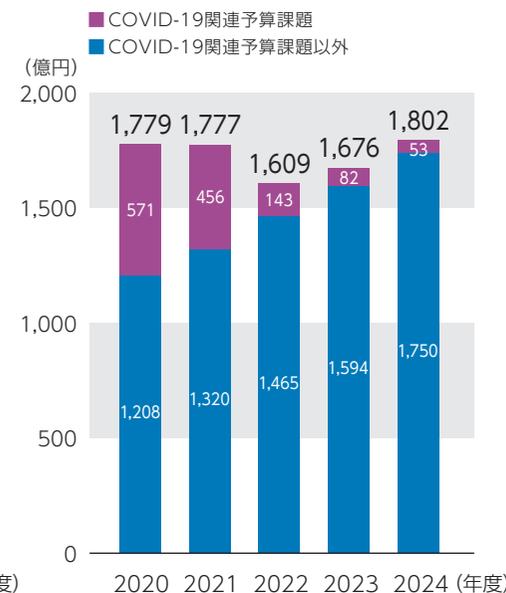


図4.1.4 研究開発費 推移 (COVID-19関連予算による研究開発)

表4.1.1 課題数と研究開発費 推移 (COVID-19関連予算による研究開発)

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		第2期合計	
	AMED全体	うち COVID-19 関連予算課題										
課題数(件)	2,814	307	2,617	127	2,615	79	2,677	57	2,692	37	13,415	607
研究開発費(億円)	1,779	571	1,777	456	1,609	143	1,676	82	1,802	53	8,643	1,305
課題あたりの研究開発費(億円)	0.6	1.9	0.7	3.6	0.6	1.8	0.6	1.4	0.7	1.4	0.6	2.2

●課題あたりの研究開発費は、平均値。  
●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

## 4.2 研究機関分類別 課題数と研究開発費

第2期では、課題数は「大学等」、研究開発費は「民間企業等」が最も多い。

2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算が措置され、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連予算課題を実施する「民間企業等」の研究開発費が一時的に増加していた。

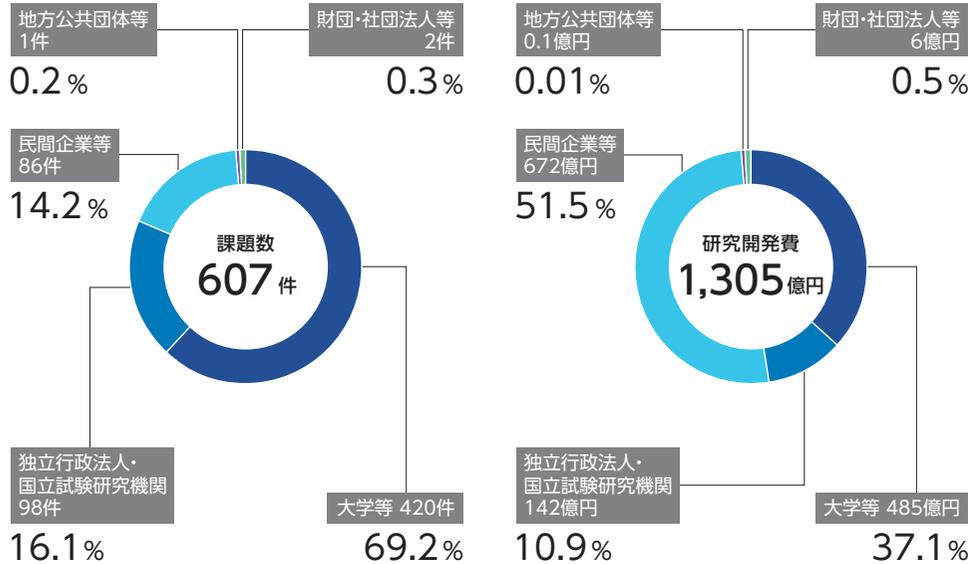


図4.2.1 第2期 研究機関分類別 課題数 (COVID-19関連予算による研究開発)

図4.2.2 第2期 研究機関分類別 研究開発費 (COVID-19関連予算による研究開発)

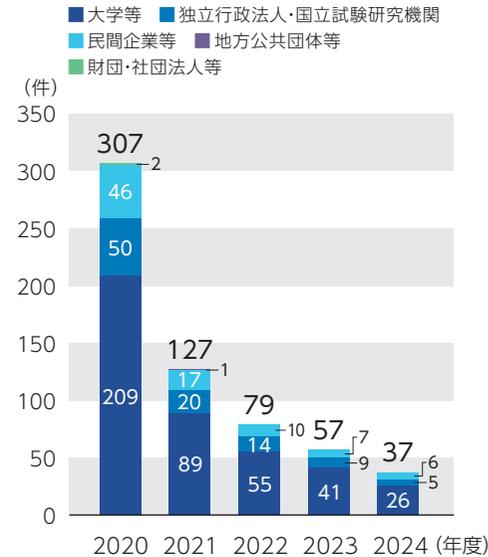


図4.2.3 研究機関分類別 課題数 推移 (COVID-19関連予算による研究開発)

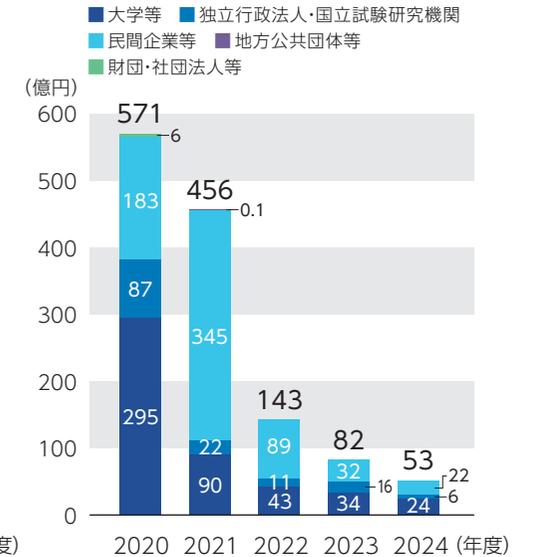


図4.2.4 研究機関分類別 研究開発費 推移 (COVID-19関連予算による研究開発)

表4.2.1 研究機関分類別 課題数と研究開発費 推移 (COVID-19関連予算による研究開発)

研究機関分類	課題数(件)						研究開発費(億円)					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
大学等	209	89	55	41	26	420	295	90	43	34	24	485
独立行政法人・国立試験研究機関	50	20	14	9	5	98	87	22	11	16	6	142
民間企業等	46	17	10	7	6	86	183	345	89	32	22	672
地方公共団体等	—	1	—	—	—	1	—	0.1	—	—	—	0.1
財団・社団法人等	2	—	—	—	—	2	6	—	—	—	—	6
<b>合計</b>	<b>307</b>	<b>127</b>	<b>79</b>	<b>57</b>	<b>37</b>	<b>607</b>	<b>571</b>	<b>456</b>	<b>143</b>	<b>82</b>	<b>53</b>	<b>1,305</b>

●研究機関分類については、「6.1 研究機関の分類」を参照。▶P35  
 ●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

### 4.3 研究の性格別 課題数と研究開発費

第2期では、課題数、研究開発費ともに「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」が最も多い。

2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算が措置され、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連予算課題の研究開発費が一時的に増加していた。

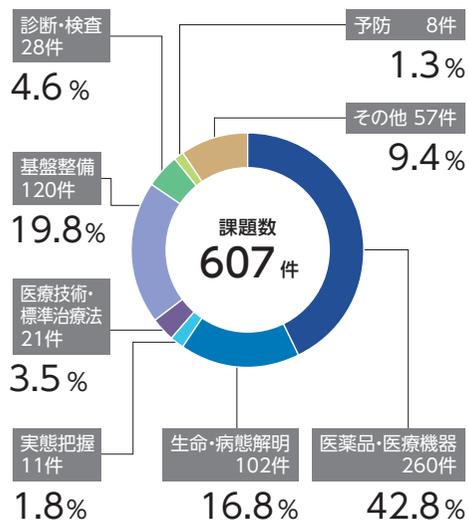


図4.3.1 第2期 研究の性格別 課題数 (COVID-19関連予算による研究開発)

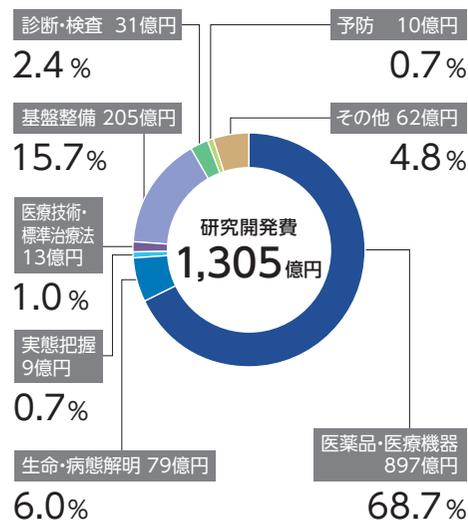


図4.3.2 第2期 研究の性格別 研究開発費 (COVID-19関連予算による研究開発)

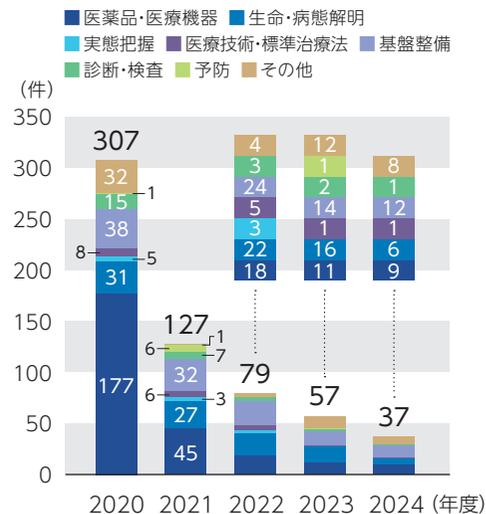


図4.3.3 研究の性格別 課題数 推移 (COVID-19関連予算による研究開発)



図4.3.4 研究の性格別 研究開発費 推移 (COVID-19関連予算による研究開発)

表4.3.1 研究の性格別 課題数と研究開発費 推移 (COVID-19関連予算による研究開発)

研究の性格	課題数 (件)					第2期合計	研究開発費 (億円)					第2期合計
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
医薬品・医療機器等の開発を目指す研究	177	45	18	11	9	260	358	382	95	38	23	897
生命・病態解明等を目指す研究	31	27	22	16	6	102	37	12	13	11	5	79
調査等の解析による実態把握を目指す研究	5	3	3	—	—	11	2	3	4	—	—	9
医療技術・標準治療法の確立等につながる研究	8	6	5	1	1	21	6	2	1	1	1	13
研究基盤及び創薬基盤の整備研究	38	32	24	14	12	120	120	43	20	12	10	205
新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証	15	7	3	2	1	28	18	4	3	4	1	31
予防のためのエビデンス構築を目指す研究	1	6	—	1	—	8	1	9	—	0.1	—	10
その他	32	1	4	12	8	57	29	0.2	7	15	12	62
合計	307	127	79	57	37	607	571	456	143	82	53	1,305

●「研究の性格」の略語については、「表1.6.1」を参照。

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

## 4.4 開発目的別 課題数と研究開発費

研究開発費では、「予防・健康」が多い。

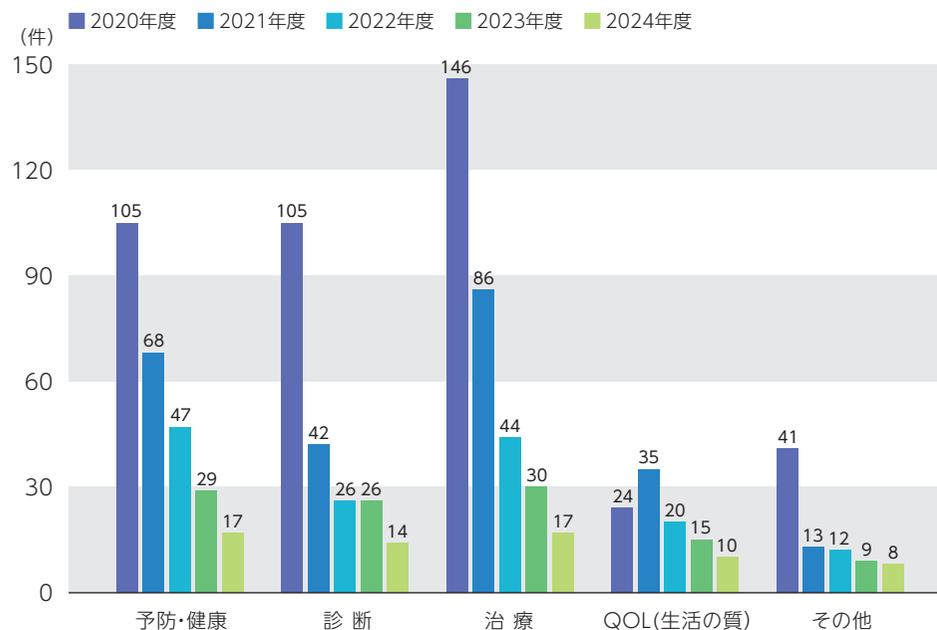


図4.4.1 開発目的別 課題数  
(COVID-19関連予算による研究開発)

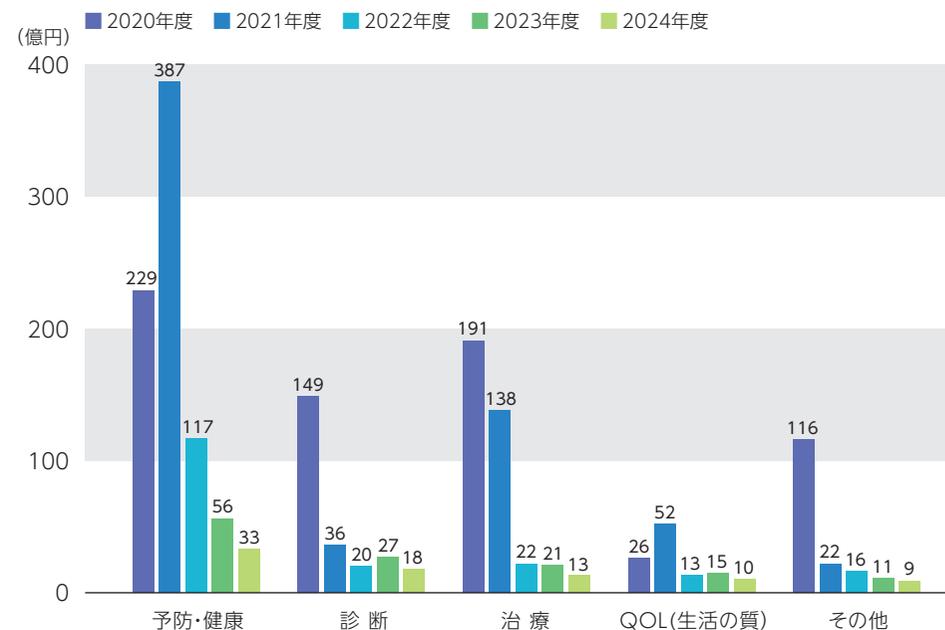


図4.4.2 開発目的別 研究開発費  
(COVID-19関連予算による研究開発)

表4.4.1 開発目的別 課題数と研究開発費(COVID-19関連予算による研究開発)

開発目的	課題数(件)					研究開発費(億円)				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
予防・健康	105	68	47	29	17	229	387	117	56	33
診断	105	42	26	26	14	149	36	20	27	18
治療	146	86	44	30	17	191	138	22	21	13
QOL(生活の質)	24	35	20	15	10	26	52	13	15	10
その他	41	13	12	9	8	116	22	16	11	9

●「開発目的」は、1つの課題に対して複数選択を可として分類している。

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

## 4.5 開発フェーズ別 課題数と研究開発費

「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」において、第2期は、課題数では「基礎的・応用」、研究開発費では「治験」が最も多い。2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算が措置され、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連予算課題の研究開発費が一時的に増加していた。

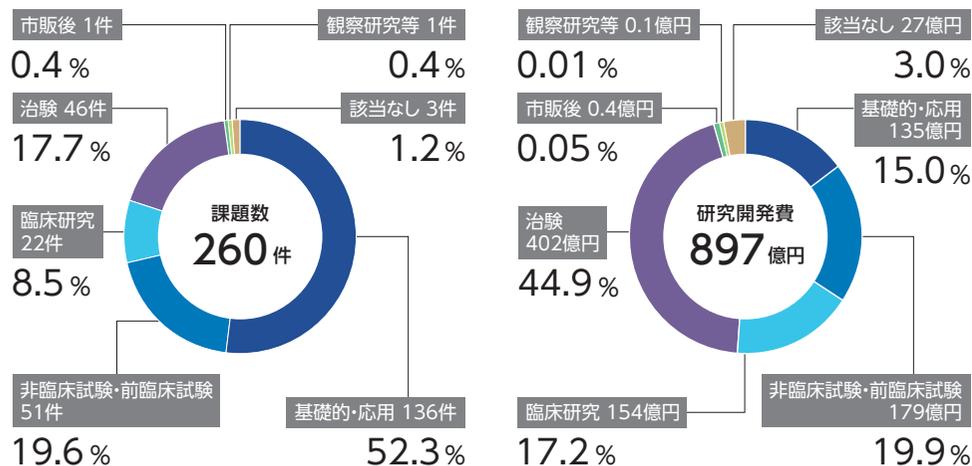


図4.5.1 第2期 開発フェーズ別 課題数 (COVID-19関連予算による研究開発、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

図4.5.2 第2期 開発フェーズ別 研究開発費 (COVID-19関連予算による研究開発、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

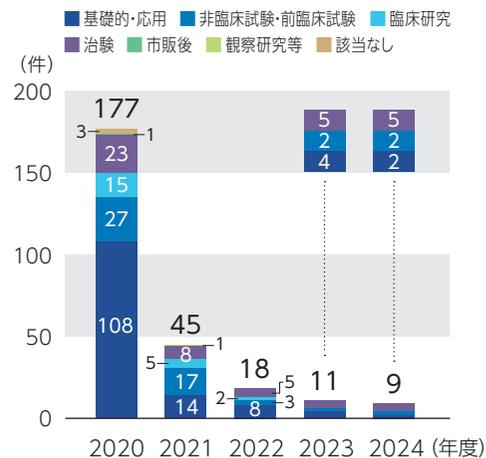


図4.5.3 開発フェーズ別 課題数 推移 (COVID-19関連予算による研究開発、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

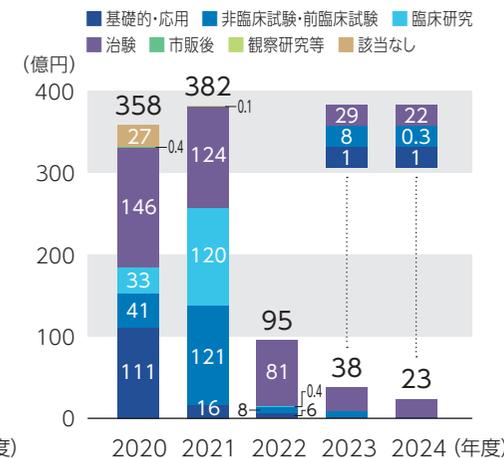


図4.5.4 開発フェーズ別 研究開発費 推移 (COVID-19関連予算による研究開発、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

表4.5.1 開発フェーズ別 課題数と研究開発費 推移 (COVID-19関連予算による研究開発、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

開発フェーズ	課題数 (件)						研究開発費 (億円)					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
基礎的・応用	108	14	8	4	2	136	111	16	6	1	1	135
非臨床試験・前臨床試験	27	17	3	2	2	51	41	121	8	8	0.3	179
臨床研究	15	5	2	—	—	22	33	120	0.4	—	—	154
治験	23	8	5	5	5	46	146	124	81	29	22	402
市販後	1	—	—	—	—	1	0.4	—	—	—	—	0.4
観察研究等	—	1	—	—	—	1	—	0.1	—	—	—	0.1
該当なし	3	—	—	—	—	3	27	—	—	—	—	27
<b>合計</b>	<b>177</b>	<b>45</b>	<b>18</b>	<b>11</b>	<b>9</b>	<b>260</b>	<b>358</b>	<b>382</b>	<b>95</b>	<b>38</b>	<b>23</b>	<b>897</b>

●開発フェーズの分類の付与を必須としている「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について内訳を示した。

●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

## 4.6 承認上の分類別 課題数と研究開発費

「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」において、第2期は、課題数、研究開発費の両方で「医薬品」が最も多い。

2020年度、2021年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関連する研究開発についての補正予算が措置され、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連予算課題の研究開発費が一時的に増加していた。

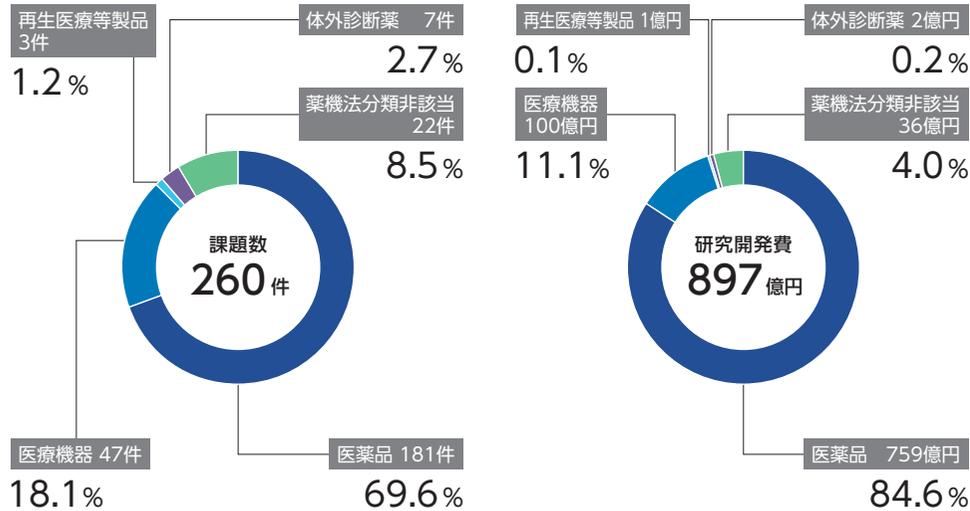


図4.6.1 第2期 承認上の分類別 課題数  
 (COVID-19関連予算による研究開発、  
 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

図4.6.2 第2期 承認上の分類別 研究開発費  
 (COVID-19関連予算による研究開発、  
 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

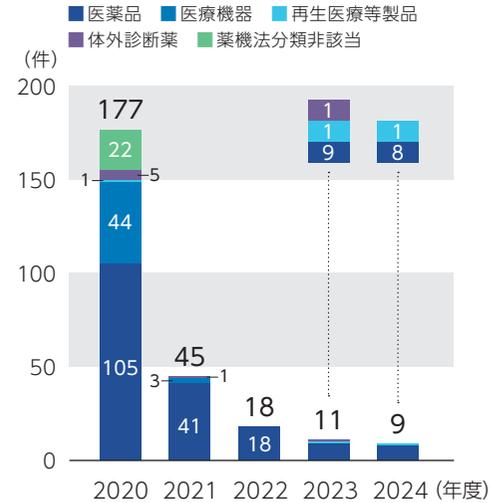


図4.6.3 承認上の分類別 課題数 推移  
 (COVID-19関連予算による研究開発、  
 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

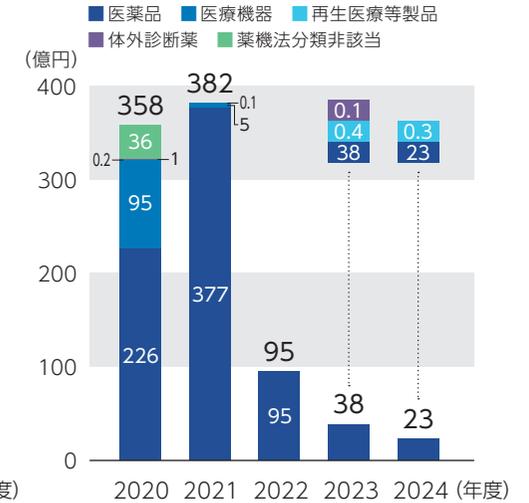


図4.6.4 承認上の分類別 研究開発費 推移  
 (COVID-19関連予算による研究開発、  
 医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

表4.6.1 承認上の分類別 課題数と研究開発費 推移(COVID-19関連予算による研究開発、医薬品・医療機器等の開発を目指す研究)

承認上の分類	課題数(件)						研究開発費(億円)					
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
医薬品	105	41	18	9	8	181	226	377	95	38	23	759
医療機器	44	3	—	—	—	47	95	5	—	—	—	100
再生医療等製品	1	—	—	1	1	3	0.2	—	—	0.4	0.3	1
体外診断薬	5	1	—	1	—	7	1	0.1	—	0.1	—	2
薬機法分類非該当	22	—	—	—	—	22	36	—	—	—	—	36
合計	177	45	18	11	9	260	358	382	95	38	23	897

●承認上の分類の付与を必須としている「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」について内訳を示した。  
 ●AMEDデータ(2025年11月時点)をもとに集計。

5.1

公募に対する  
応募・採択件数と採択率

第2期の公募では、応募件数21,720件、採択件数4,911件で、採択率は22.6%であった。  
第2期を通して、採択率は22%から24%で推移している。

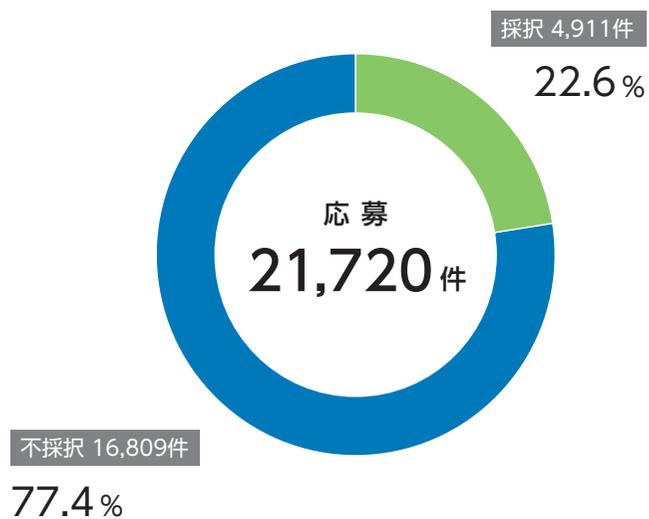


図5.1.1 第2期 応募・採択件数

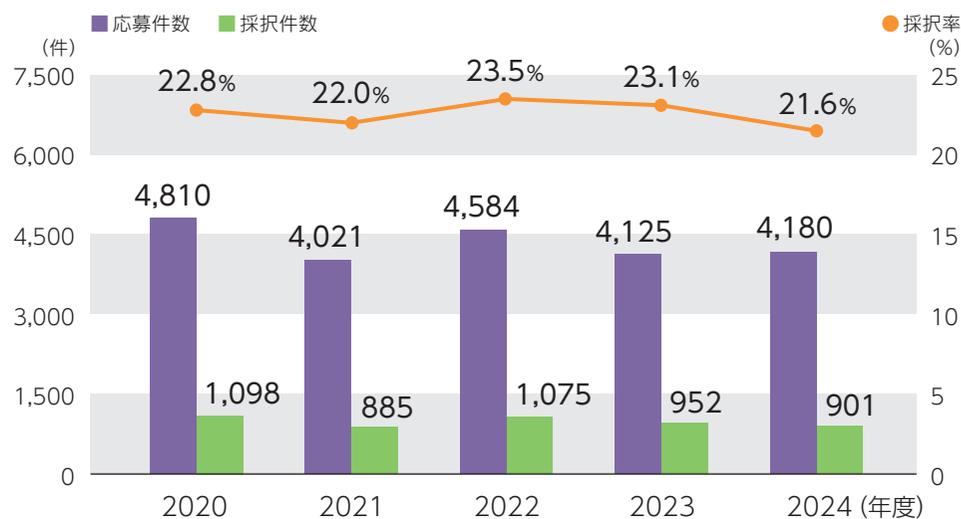


図5.1.2 応募・採択件数と採択率 推移

表5.1.1 応募・採択件数と採択率

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
応募件数	4,810	4,021	4,584	4,125	4,180	21,720
採択件数	1,098	885	1,075	952	901	4,911
採択率	22.8%	22.0%	23.5%	23.1%	21.6%	22.6%

●採択率は、各年度の全応募件数に対する全採択件数の割合。  
●公募に関するAMED公開情報等(2025年11月時点)をもとに、年度毎に集計。

## 5.2 新規課題研究代表者 性別人数と平均年齢

第2期の新規課題研究代表者のうち、女性は478人で、女性比率は10.3%であった。また、平均年齢は、第2期全体で49.8歳、男性が50.1歳、女性が47.1歳であった。第2期を通して、女性の方が平均年齢が2~4歳若い。

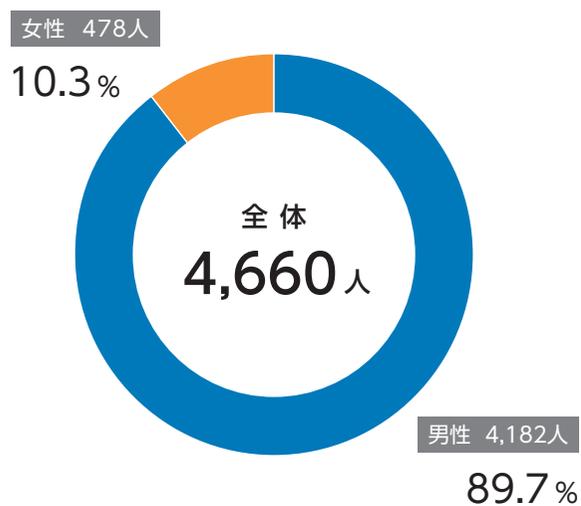


図5.2.1 第2期 男女別 研究代表者数

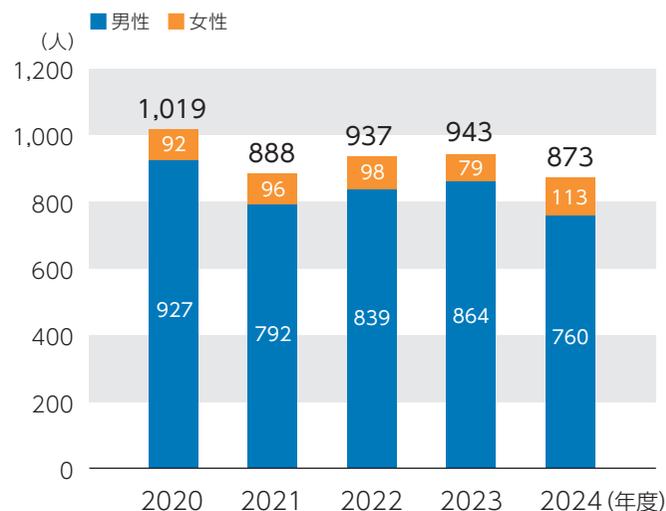


図5.2.2 男女別 研究代表者数 推移



図5.2.3 全体及び男女別 研究代表者 平均年齢 推移

表5.2.1 研究代表者数と女性比率 推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
男性	927	792	839	864	760	4,182
女性	92	96	98	79	113	478
全体	1,019	888	937	943	873	4,660
女性比率	9.0%	10.8%	10.5%	8.4%	12.9%	10.3%

表5.2.2 研究代表者 平均年齢 推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
男性	50.7歳	49.5歳	50.2歳	49.9歳	50.3歳	50.1歳
女性	46.8歳	47.6歳	46.4歳	48.5歳	46.6歳	47.1歳
全体	50.4歳	49.3歳	49.8歳	49.8歳	49.8歳	49.8歳

●研究開始年度がそれぞれの年度である課題を各年度の新規課題とした。  
 ●研究代表者数は各年度新規課題の延べ人数で、年齢はその生年月日をもとにした研究開始年度当初の満年齢。  
 ●e-Rad (府省共通研究開発管理システム) の採択課題情報 (全ステータス、2025年11月時点) をもとに研究者の性別及び年齢について集計。ただし、性別、生年月日が不明の者は除いた。

5.3

新規課題研究代表者  
年齢階級別人数

1) 全体

第2期では、新規課題研究代表者のうち45～49歳が最も多かった。  
40歳未満は15%であった。第2期を通して、12%～18%で推移している。

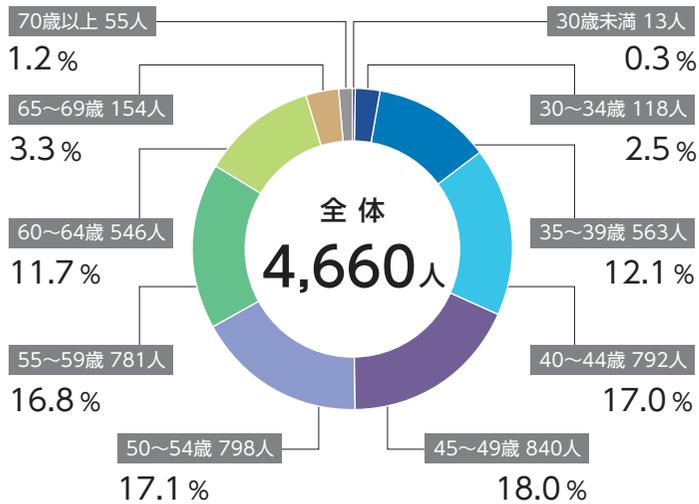


図5.3.1 第2期 年齢階級別 研究代表者数

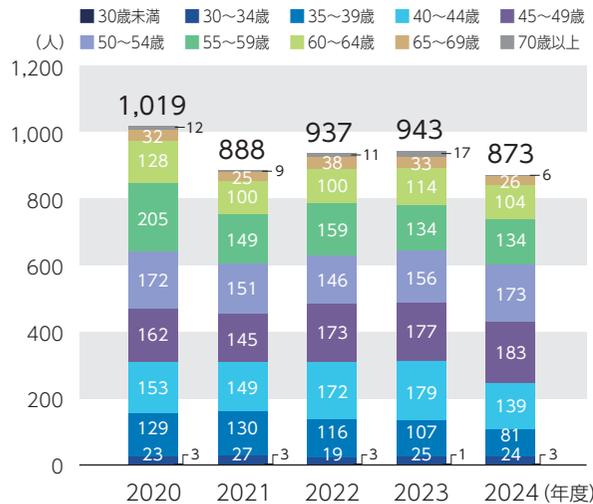


図5.3.2 年齢階級別 研究代表者数 推移

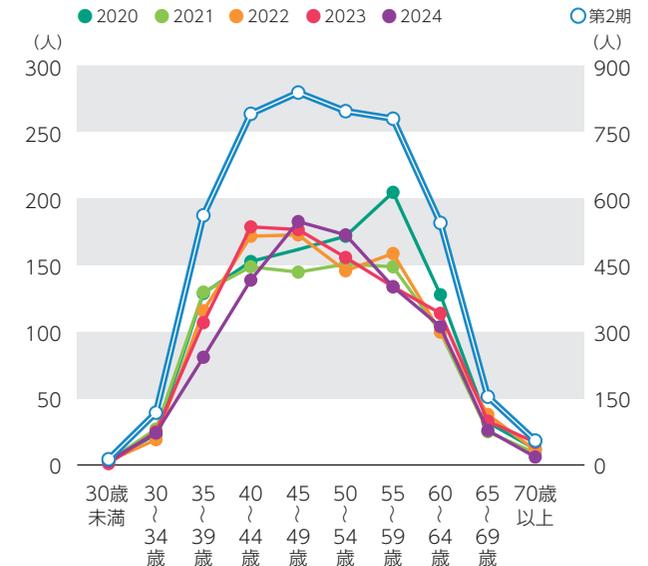


図5.3.3 年齢階級別 研究代表者数 年度別比較

表5.3.1 年齢階級別 研究代表者数 推移

(単位:人)

年齢階級	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
30歳未満	3	3	3	1	3	13
30～34歳	23	27	19	25	24	118
35～39歳	129	130	116	107	81	563
40～44歳	153	149	172	179	139	792
45～49歳	162	145	173	177	183	840
50～54歳	172	151	146	156	173	798
55～59歳	205	149	159	134	134	781
60～64歳	128	100	100	114	104	546
65～69歳	32	25	38	33	26	154
70歳以上	12	9	11	17	6	55
合計	1,019	888	937	943	873	4,660

- 研究開始年度がそれぞれの年度である課題を各年度の新規課題とした。
- 研究代表者数は、各年度新規課題の延べ人数で、年齢はその生年月日をもとに、研究開始年度当初の満年齢から年齢階級別に集計した。
- e-Rad (府省共通研究開発管理システム) の採択課題情報 (全ステータス、2025年11月時点) をもとに集計。ただし、性別、生年月日が不明の者は除いた。

5.3

新規課題研究代表者  
年齢階級別人数

2) 男性

第2期では、新規課題研究代表者のうち45～49歳が最も多かった。  
40歳未満は14%であった。第2期を通して、11%～18%で推移している。

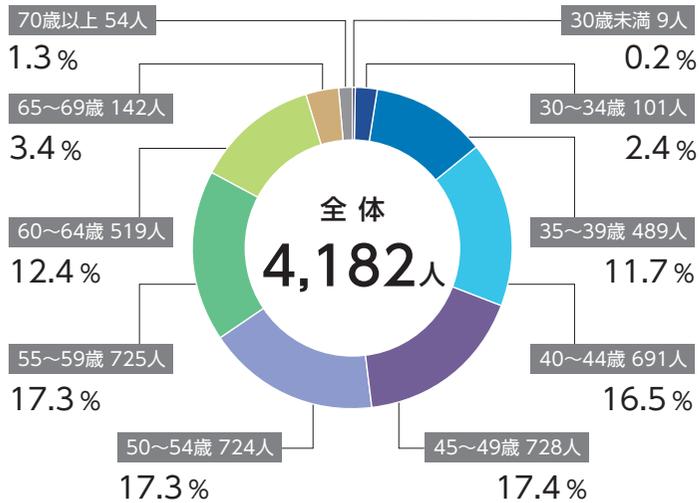


図5.3.4 第2期 年齢階級別 男性研究代表者数

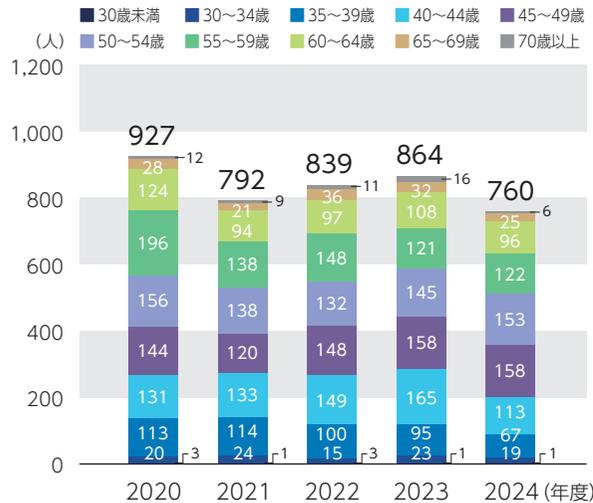


図5.3.5 年齢階級別 男性研究代表者数 推移

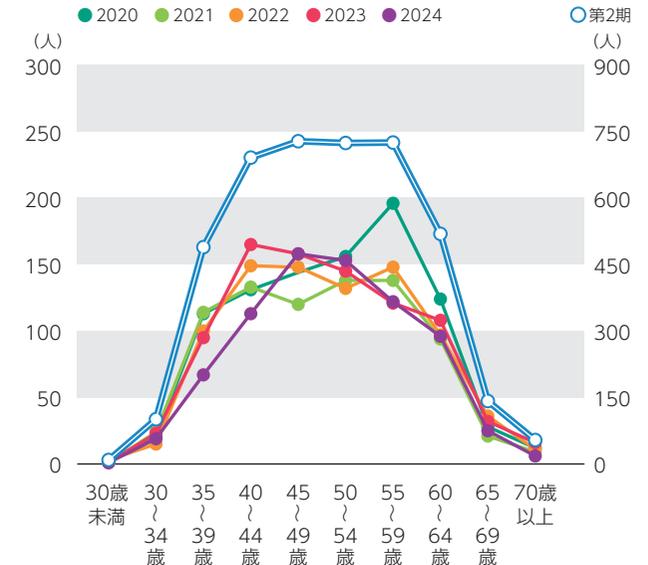


図5.3.6 年齢階級別 男性研究代表者数 年度別比較

表5.3.2 年齢階級別 男性研究代表者数 推移

(単位:人)

年齢階級	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
30歳未満	3	1	3	1	1	9
30～34歳	20	24	15	23	19	101
35～39歳	113	114	100	95	67	489
40～44歳	131	133	149	165	113	691
45～49歳	144	120	148	158	158	728
50～54歳	156	138	132	145	153	724
55～59歳	196	138	148	121	122	725
60～64歳	124	94	97	108	96	519
65～69歳	28	21	36	32	25	142
70歳以上	12	9	11	16	6	54
合計	927	792	839	864	760	4,182

● 研究開始年度がそれぞれの年度である課題を各年度の新規課題とした。  
 ● 研究代表者数は、各年度新規課題の延べ人数で、年齢はその生年月日をもとに、研究開始年度当初の満年齢から年齢階級別に集計した。  
 ● e-Rad (府省共通研究開発管理システム) の採択課題情報 (全ステータス、2025年11月時点) をもとに集計。ただし、性別、生年月日が不明の者は除いた。

5.3

新規課題研究代表者  
年齢階級別人数

3) 女性

第2期では、新規課題研究代表者のうち45～49歳が最も多かった。  
40歳未満は20%であった。第2期を通して、18%～22%で推移している。

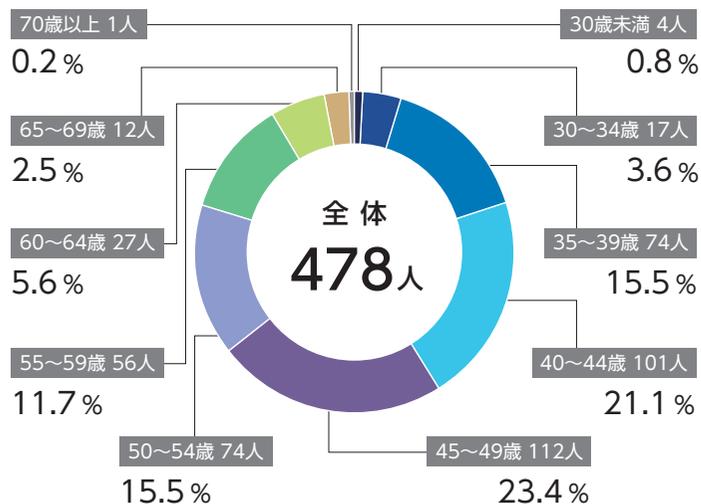


図5.3.7 第2期 年齢階級別 女性研究代表者数

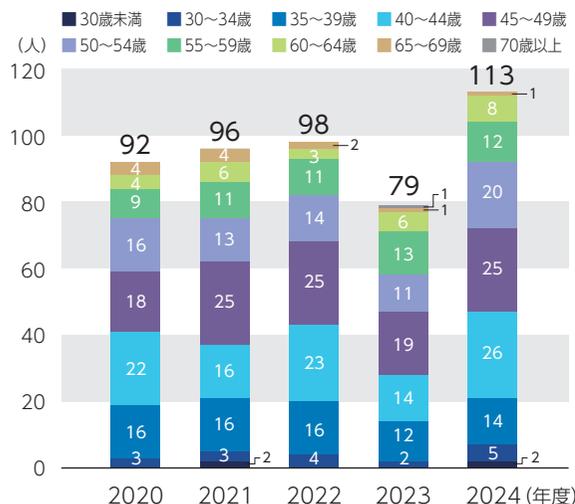


図5.3.8 年齢階級別 女性研究代表者数 推移

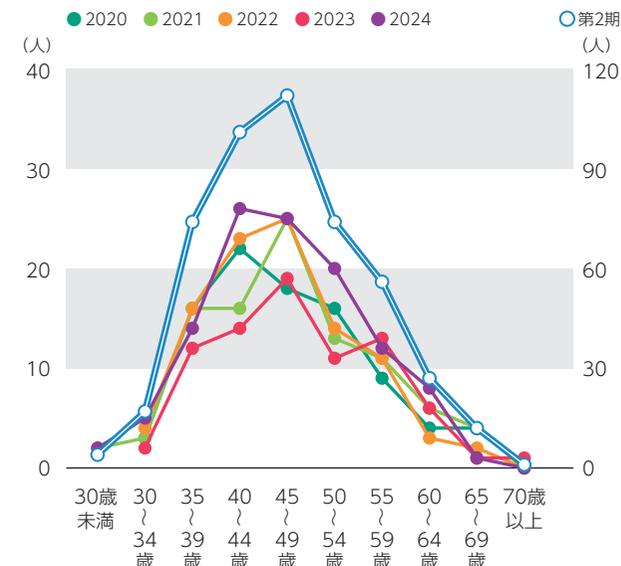


図5.3.9 年齢階級別 女性研究代表者数 年度別比較

表5.3.3 年齢階級別 女性研究代表者数 推移

(単位:人)

年齢階級	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	第2期合計
30歳未満	—	2	—	—	2	4
30～34歳	3	3	4	2	5	17
35～39歳	16	16	16	12	14	74
40～44歳	22	16	23	14	26	101
45～49歳	18	25	25	19	25	112
50～54歳	16	13	14	11	20	74
55～59歳	9	11	11	13	12	56
60～64歳	4	6	3	6	8	27
65～69歳	4	4	2	1	1	12
70歳以上	—	—	—	1	—	1
合計	92	96	98	79	113	478

- 研究開始年度がそれぞれの年度である課題を各年度の新規課題とした。
- 研究代表者数は、各年度新規課題の延べ人数で、年齢はその生年月日をもとに、研究開始年度当初の満年齢から年齢階級別に集計した。
- e-Rad (府省共通研究開発管理システム) の採択課題情報 (全ステータス、2025年11月時点) をもとに集計。ただし、性別、生年月日が不明の者は除いた。

## 6.1 | 研究機関の分類

本資料での分類	機関種別
大学等	国立大学 公立大学 私立大学 大学共同利用機関 等
独立行政法人・ 国立試験研究機関	独立行政法人 国立試験研究機関
民間企業等	民間企業 医療法人、社会福祉法人 等
地方公共団体等	地方公共団体 地方独立行政法人
財団・社団法人等	財団法人 社団法人 公益法人 特殊法人及び特別認可法人
その他	宗教法人 海外機関 その他

## 6.2 | 用語集

用語	説明
COVID-19 関連予算課題	<p>新型コロナウイルス感染症対策の補正予算等でAMEDが支援した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連研究開発課題を指す。</p> <p>本データブックでのCOVID-19関連予算課題は、「新型コロナウイルス感染症対策予算に関するAMEDの研究開発の状況について」  <a href="https://www.amed.go.jp/content/000112086.pdf">https://www.amed.go.jp/content/000112086.pdf</a>による。</p>
e-Rad	<p>府省共通研究開発管理システム。競争的資金制度を中心として研究開発管理に係る一連のプロセス(応募受付→審査→採択→採択課題管理→成果報告等)をオンライン化する府省横断的なシステムで、2009年1月から運用が開始された。</p> <p><a href="https://www.e-rad.go.jp">https://www.e-rad.go.jp</a></p>
ICD-10 疾病分類	<p>ICDは、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類:International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems」の略称で、世界保健機関(WHO)作成の疾病分類である。ICD-10は、その第10回目の改訂版であり、日本では現在、ICD-10(2013年版)に準拠した「疾病、傷害及び死因の統計分類」を厚生労働省が作成し、統計調査や医療機関における診療録の管理等に活用されている。AMEDでは、このICD-10の大分類(章)の疾病分類を、支援する研究開発課題の対象疾患分類項目としている。本データブックでは、ICD-10大分類(章)のうち「新生物」を「がん(新生物)」と表記している。</p> <p>なお、ICD-10には、原因不明の新たな疾患又はエマーゼンシーコードの暫定分類として特殊目的用コードが用意されており、その中に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が含まれる。本データブックでは「COVID-19」と表記している。</p>

用語	説明
医療研究開発革新基盤創成事業(CICLE)	AMEDが技術リスクの一部を負担する大規模かつ長期の返済型資金(原則最長10年、上限100億円)を提供することにより、医薬品・医療機器等の研究開発を含めた、実用化の加速化等を革新する基盤の形成を推進している。
開発フェーズ	AMEDにおける研究開発課題の分類項目の一つ。研究開発支援の開発フェーズを、「基礎的」、「応用」、「非臨床試験・前臨床試験」、「臨床研究」、「治験」、「市販後」、「観察研究等」のいずれかに分類している。研究の性格が「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」では分類の付与を必須としており、それ以外の性格の課題では任意で分類が付与されている。
開発目的	<p>AMEDにおける研究開発課題の分類項目の一つ。主たる研究主題についての開発の目的を、次の4つに分類している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 予防・健康</li> <li>● 診断</li> <li>● 治療</li> <li>● QOL(生活の質)</li> </ul> <p>この4つの分類に当てはまらない場合、特定の開発目的を有しない場合は「その他」としている。</p>
課題	AMEDが採択した課題のもとで実施される分担や再委託の課題を含めた、AMEDが交付する研究開発費によって実施される研究開発課題又はそうした課題の総称。研究開始から終了まで、複数年に渡る場合もあるが、本データブックでは、当該年度の4月1日以降に開始され、かつそれ以前の年度に課題が存在しない課題を新規課題、それ以外の課題を継続課題とし、課題数や研究開発費は年度ごとに計上している。

## 6.2 | 用語集

用語	説明
基金事業	科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律に基づき造成されるもの。あらかじめ複数年度にわたる財源を確保しておき、安定的かつ効率的な実施のために弾力的な支出が可能とされている。
研究代表	AMEDが採択した研究開発課題の代表機関や代表者。
研究の性格	研究の性格を示す内容を分類するため、AMEDが独自に付与した分類項目で、次の8分類がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●医薬品・医療機器等の開発を目指す研究(医療機器開発につながるシステム開発を含む)</li> <li>●生命・病態解明等を目指す研究</li> <li>●調査等の解析による実態把握を目指す研究(フィールドワーク、サーベイランス、モニタリングを含む)</li> <li>●医療技術・標準治療法の確立等につながる研究(診療の質を高めるためのエビデンス構築(診療ガイドライン作成等)を含む)</li> <li>●研究基盤及び創薬基盤の整備研究(創薬技術・ICT基盤・プラットフォーム関係含む)</li> <li>●医療薬事制度・介護制度の改良及び技術支援等につながる研究(国際保健(制度)の技術支援等につながる研究を含む)</li> <li>●新規診断法・検査法・検査体制の開発、確立、検証(診断薬・診断機器開発は除く)</li> <li>●予防のためのエビデンス構築を目指す研究(疫学を含む)</li> </ul>

用語	説明
健康・医療戦略(第2期)	健康・医療戦略は健康・医療戦略推進法(平成26年法律第48号)第17条に基づき、国民が健康な生活及び長寿を享受することのできる社会(健康長寿社会)を形成するため、政府が講ずべき医療分野の研究開発及び健康長寿社会に資する新産業創出等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するべく政府が定めるものである。第2期については、2020年度(令和2年度)から2024年度(令和6年度)までの5年間を対象期間として令和2年3月27日に閣議決定された(令和3年4月9日一部変更)。
疾患領域	健康・医療戦略(第2期)において、2040年の人口動態を見据え、現在及び将来の我が国において社会課題となるものとして定められた7つの疾患領域。本データブックでは、7つの分類に当てはまらない場合、特定の疾患領域に関する研究でない場合は「その他」としている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●がん</li> <li>●生活習慣病(循環器、糖尿病等を含む)</li> <li>●精神・神経疾患</li> <li>●老年医学・認知症</li> <li>●難病</li> <li>●成育</li> <li>●感染症(薬剤耐性を含む)</li> </ul>

## 6.2 | 用語集

用語	説明
承認上の分類	AMEDにおける研究開発課題の分類項目の一つ。医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法)第2条で定義された品目のうち、AMEDの研究開発支援の対象である、医薬品、医療機器、再生医療等製品、体外診断用医薬品の4品目について、そのいずれかを付与している。研究の性格が「医薬品・医療機器等の開発を目指す研究」では承認上の分類の付与を必須としており、それ以外の性格の課題では任意で付与されている。
中長期計画	国立研究開発法人であるAMEDは、中長期目標を達成するための中長期計画を定めることが独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第35条の5に規定されている。AMEDにおいては、2015年度から2019年度までの5年間で第1期中長期計画期間、2020年度から2024年度が第2期中長期計画期間である。 <b>AMEDの中長期計画(第1期、第2期)</b>
統合プロジェクト(第2期)	健康・医療戦略(第2期)において定められたモダリティ等を軸とする6つの統合プロジェクト。 1) 医薬品プロジェクト 2) 医療機器・ヘルスケアプロジェクト 3) 再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト 4) ゲノム・データ基盤プロジェクト 5) 疾患基礎研究プロジェクト 6) シーズ開発・研究基盤プロジェクト



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

研究開発戦略推進部  
研究開発企画課

[kaihatukikaku@amed.go.jp](mailto:kaihatukikaku@amed.go.jp)



2025年12月発行